



しのびのサシ

1

暴虐・悪政の
限りを尽くした
呆将きしまりゆうぜん
輝島龍饒…

貴様が
殺した民と
あの世で
遭わぬよう

某がそれがし
地獄が
送つたに

早朝には
御殿ごでんにいる全員の
身辺検査が
始まる

寝不足は
欺あやむくの
難あやむしいのが

部屋に戻って
就寝しないと

死体が発見される
まで2時間…



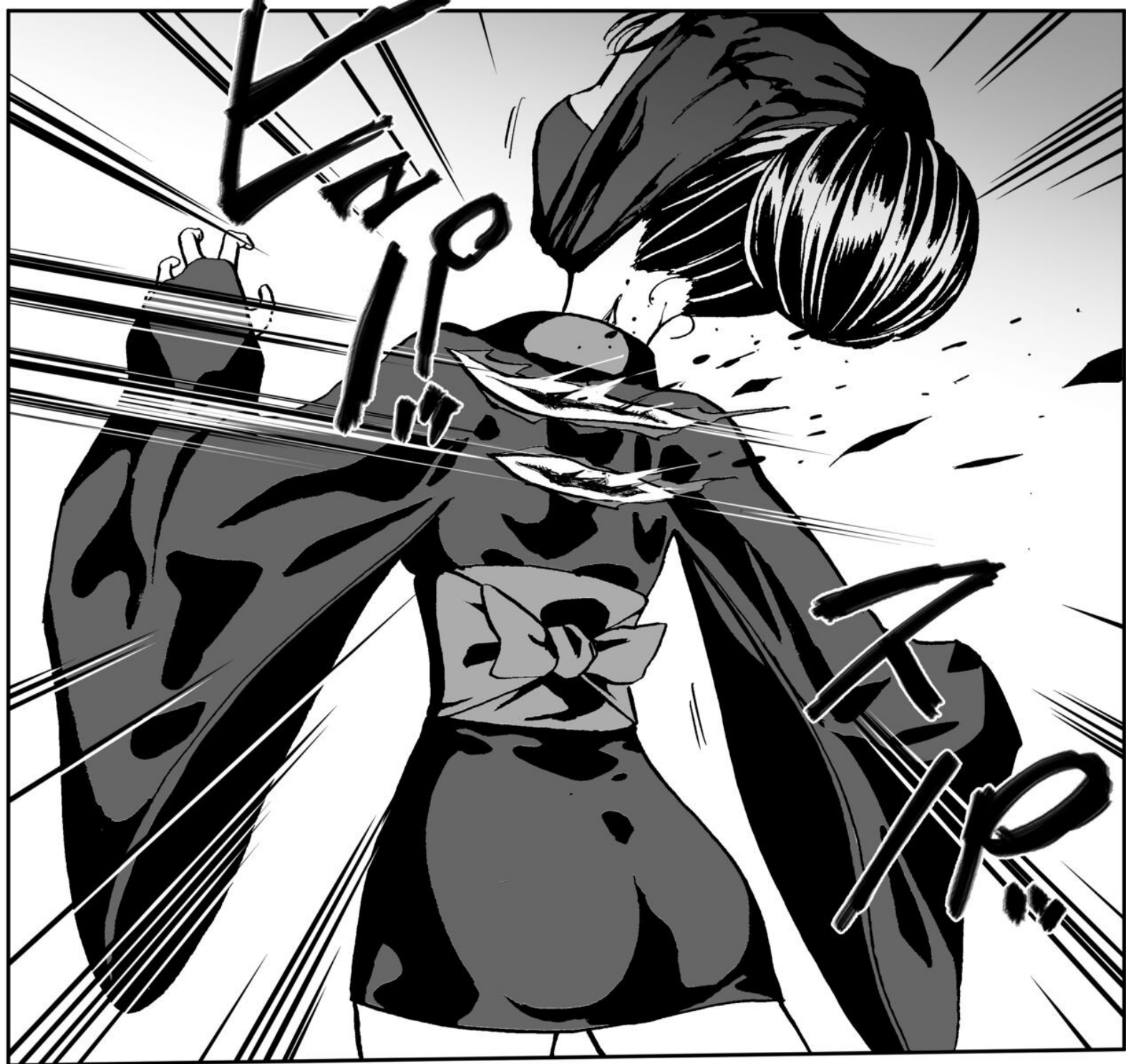
無意味な願掛けに
頼った日時よりも……

物音が聞こえづら
い強風の日を選んだか

優秀な
忍だな

!?





縦振りの剣より
横振りの方が
かわされにくい

そうだ

人体は縦に
細長い



畳縞……

斬術……

横に刻まれた
続けた身体は
やがて畳の
模様のように
なる

ゆえに「畳縞」

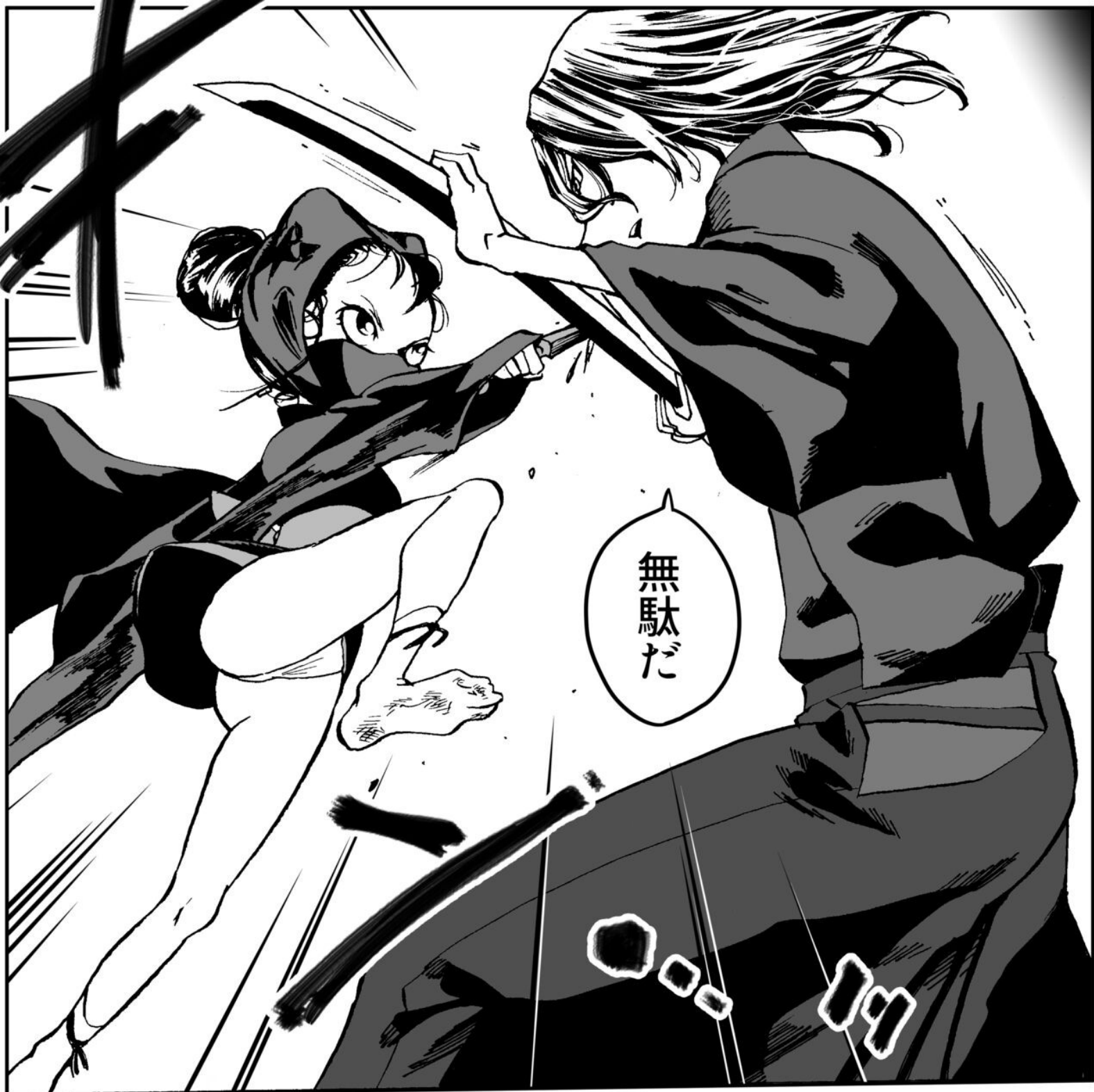
…いつから
気付いていた？

城にいる女中の特徴は
全て頭に入っている

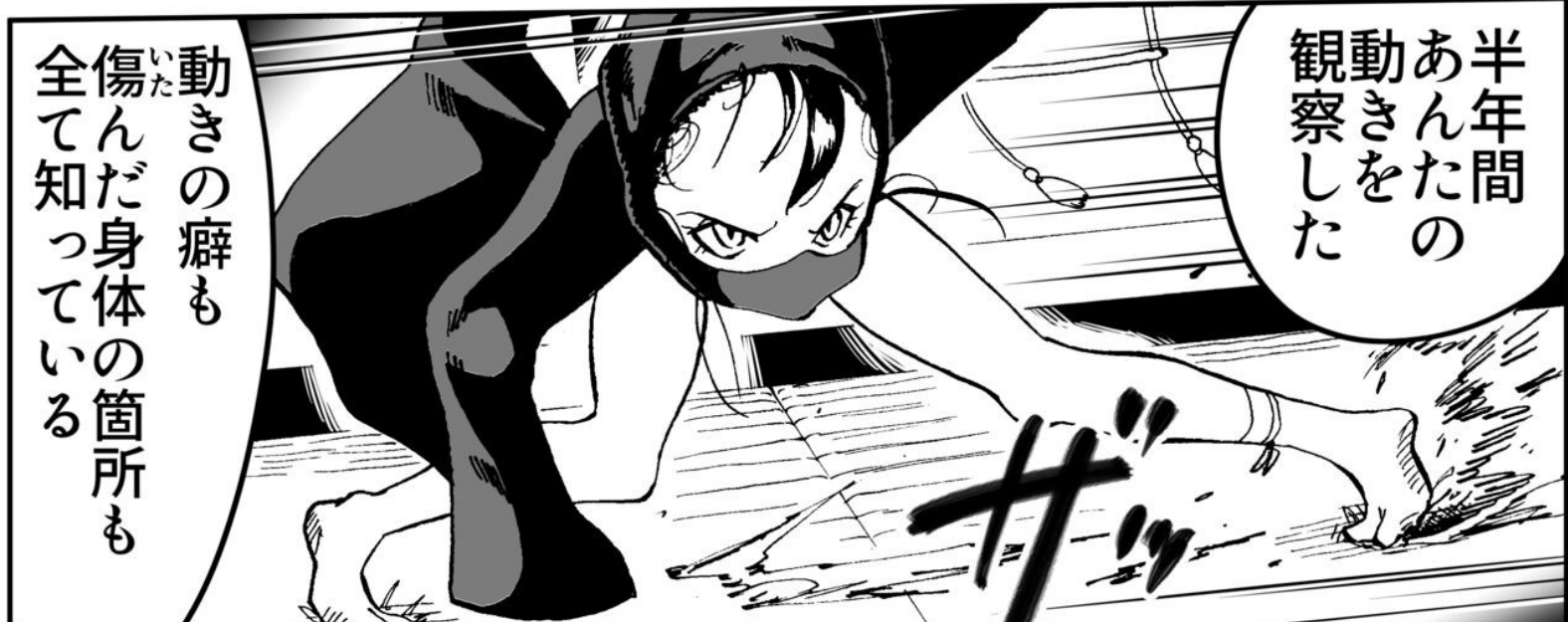
あなたの
筋肉の
付き方…
歩き方…

その歳にして
苛烈な
戦闘訓練を
受けているな

ゴッ!



無駄だ



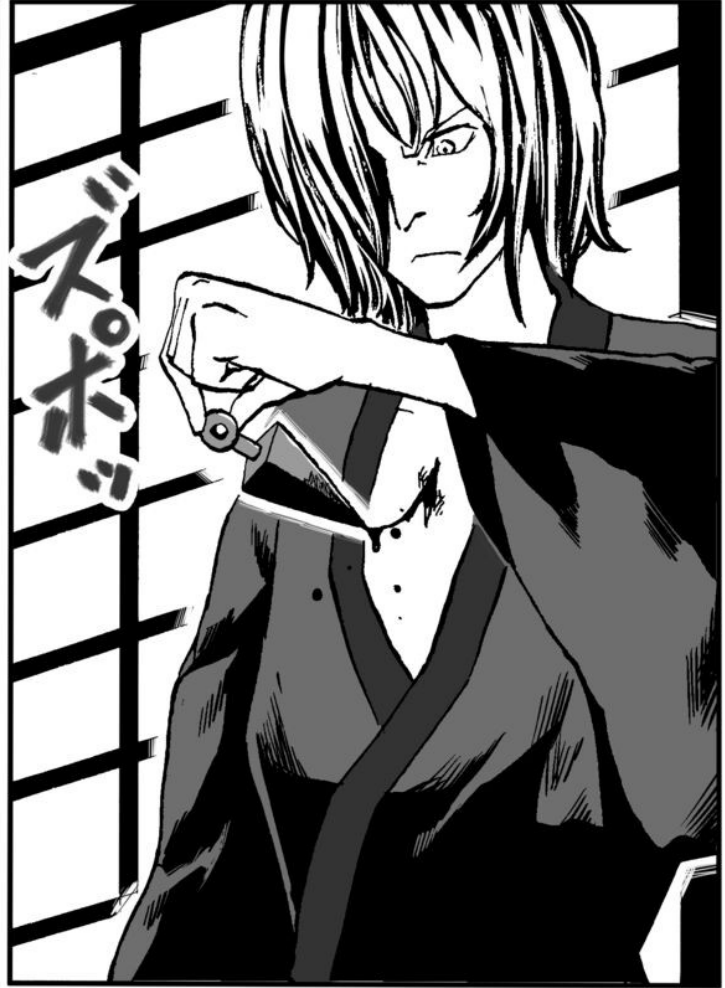
半年間の
あなたの
動きを観察した

動きの癖も

傷んだ身体の箇所も
全て知っている

これもお観察した
かッ!?





この痴れ者は
使えない

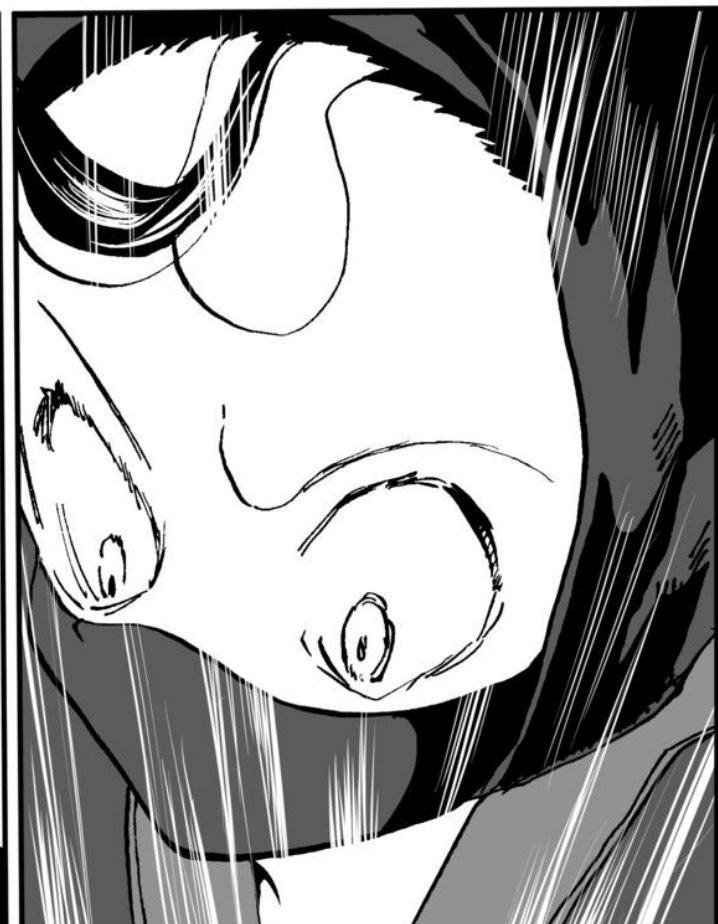
臣下である俺が
始末する予定だった
が……

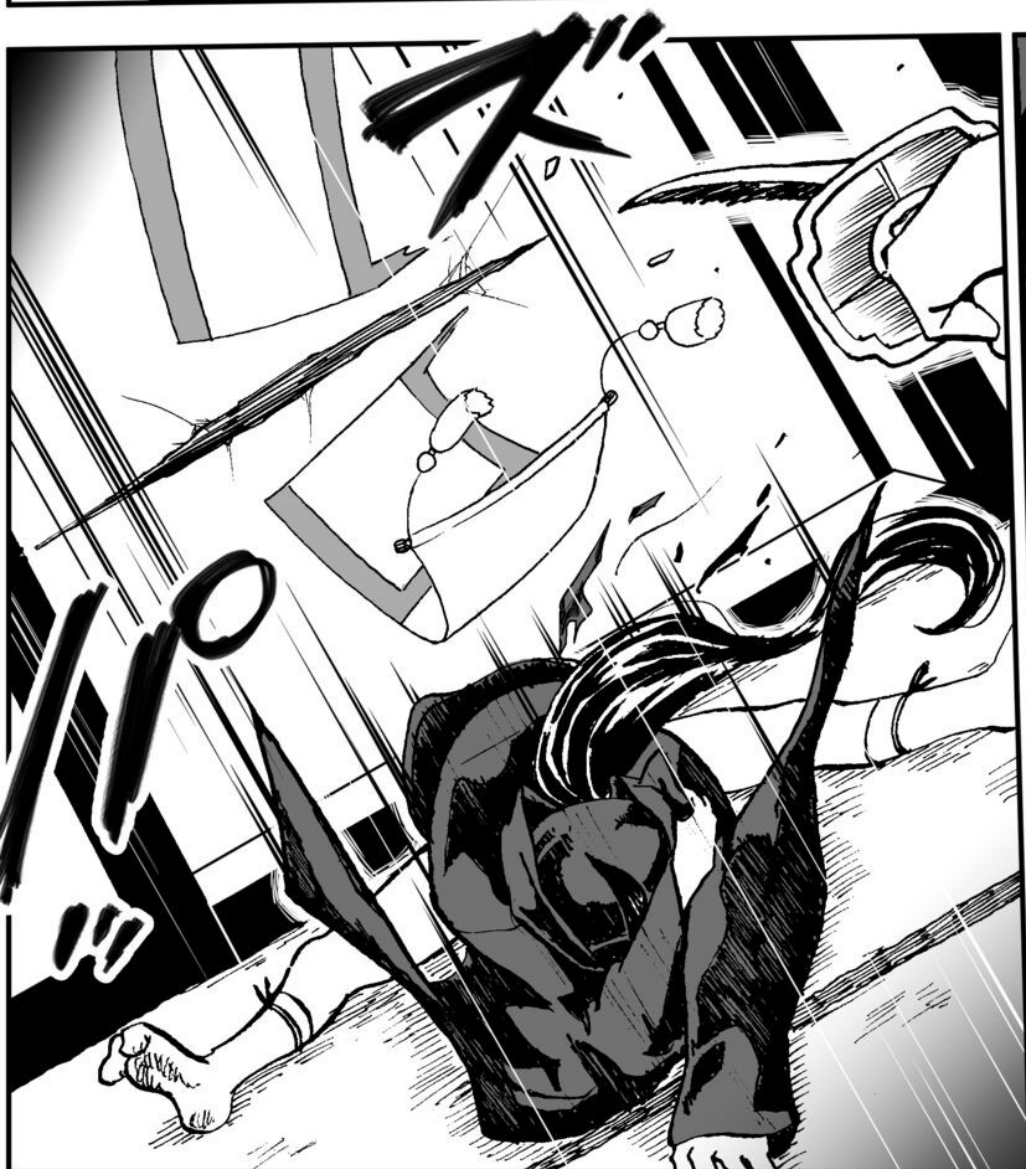
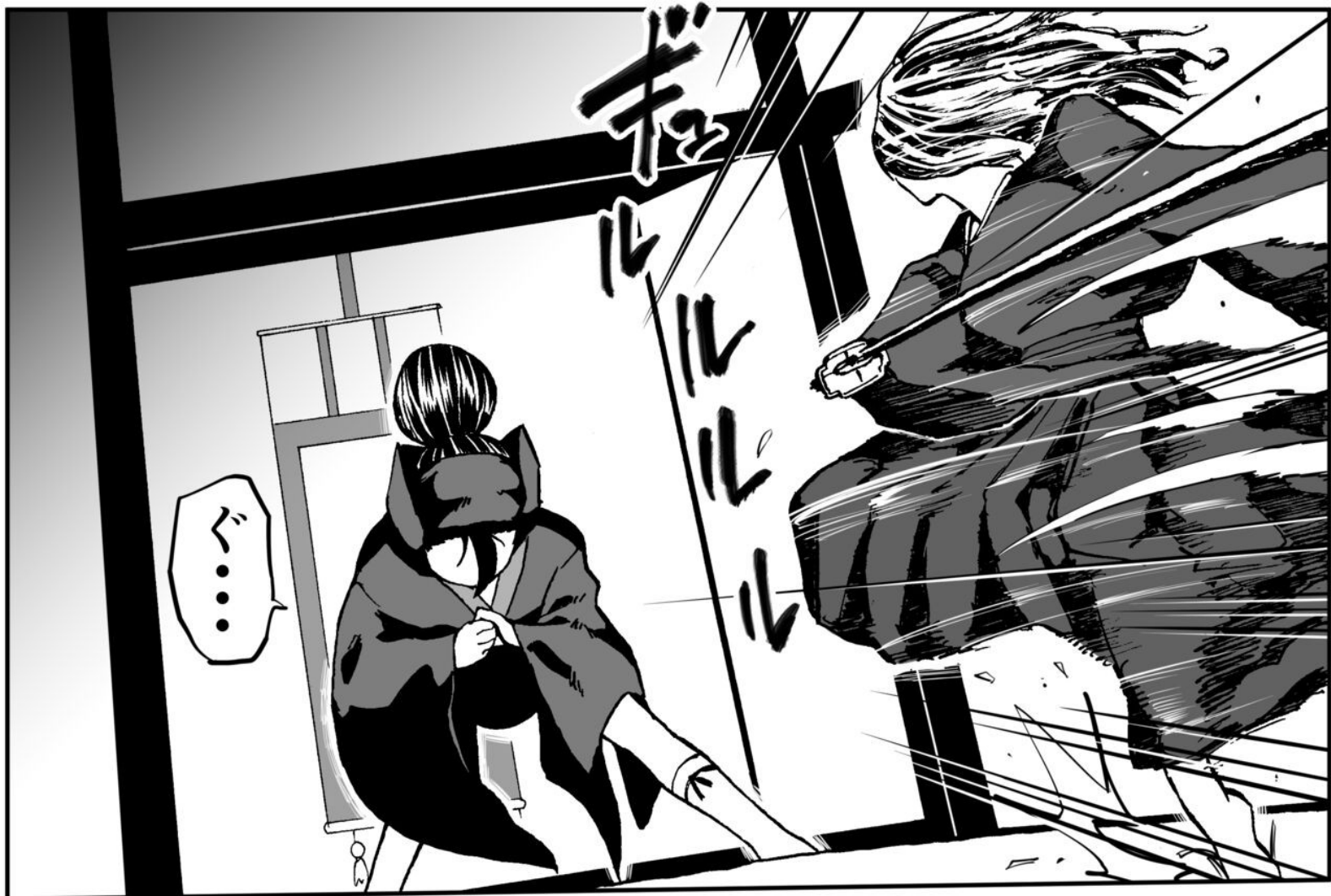
あんたが殺してくれる
なら有難い
ありがた



某の潜入に
気が付いていながら
今日まで泳がせて
いた理由は？







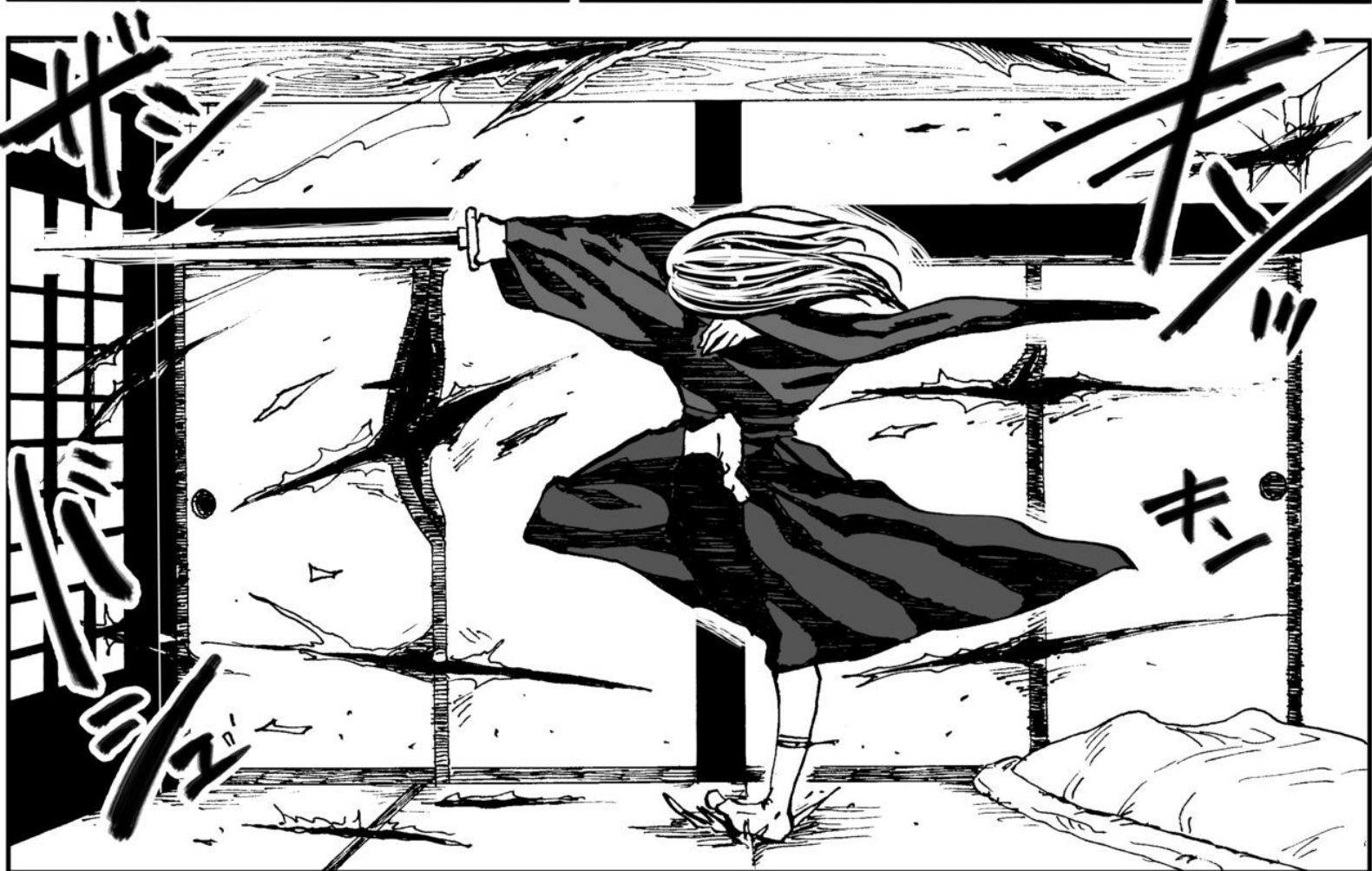
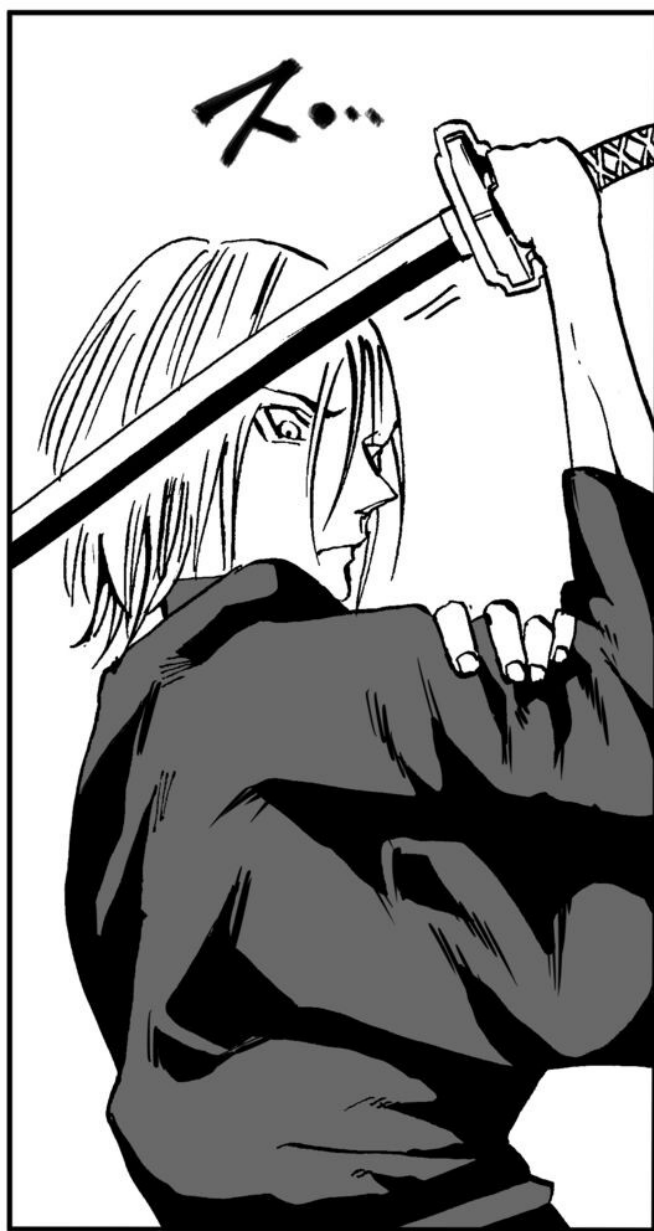


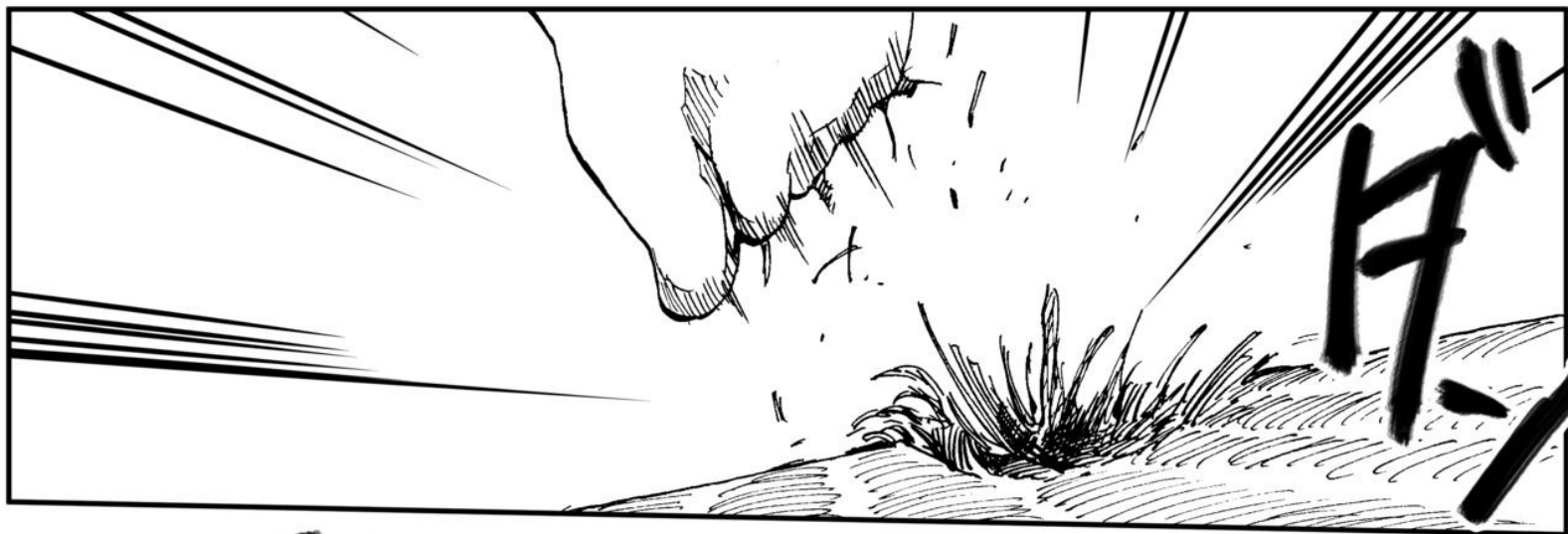


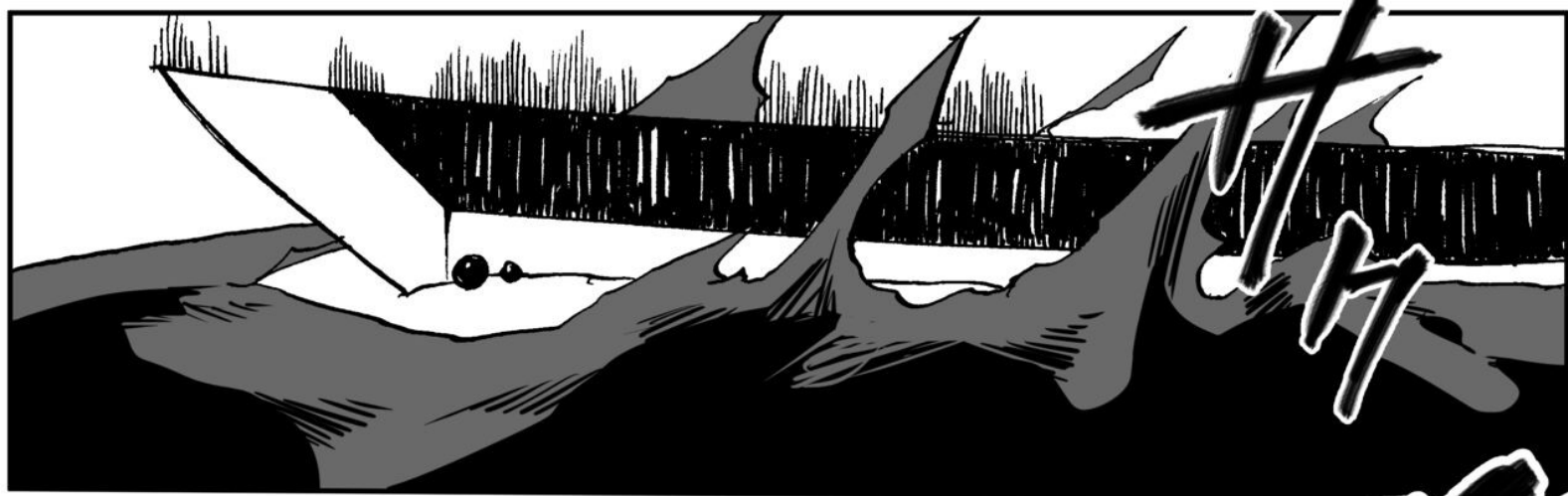
ぐ
あ
あ

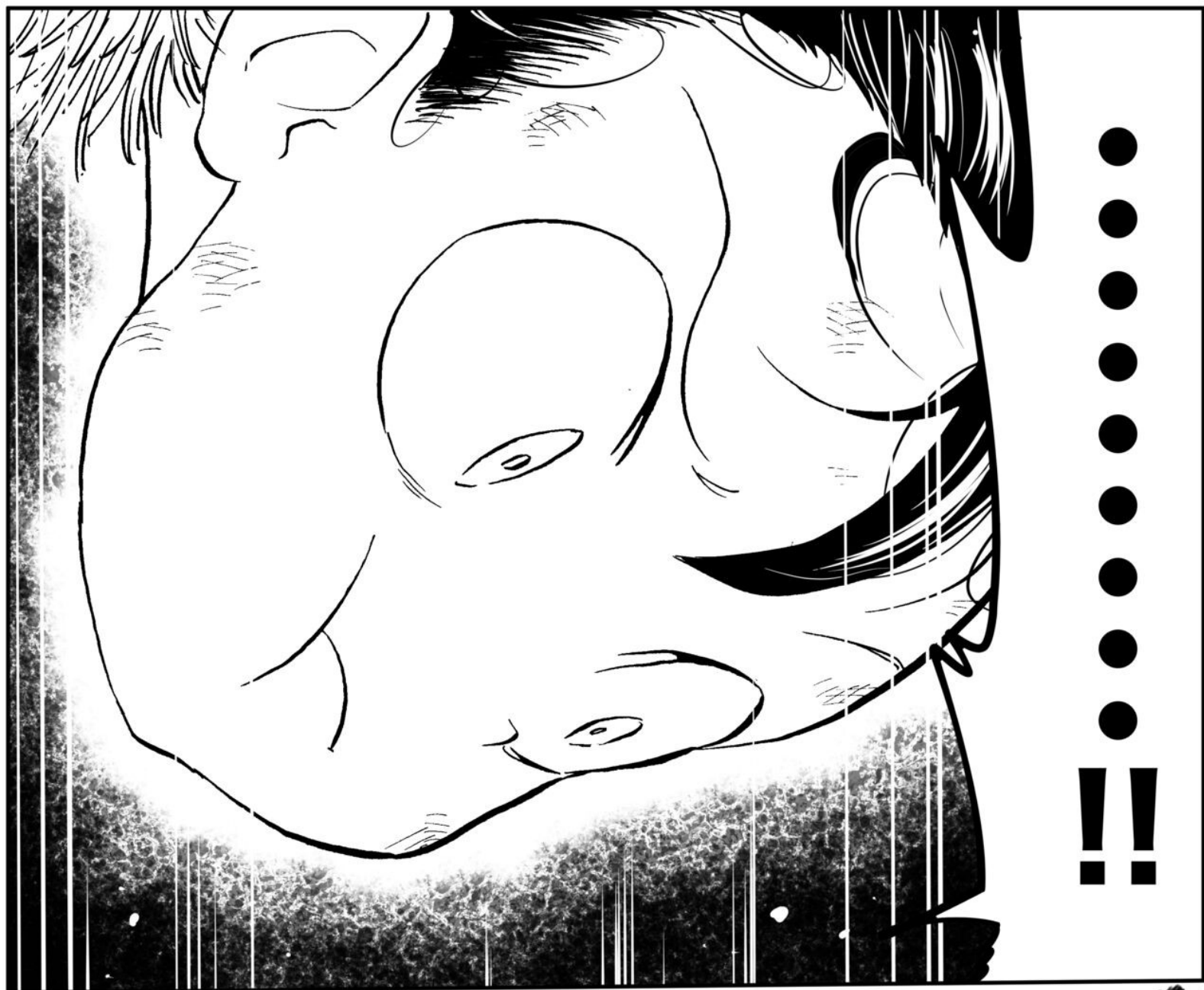
!

あ
あ











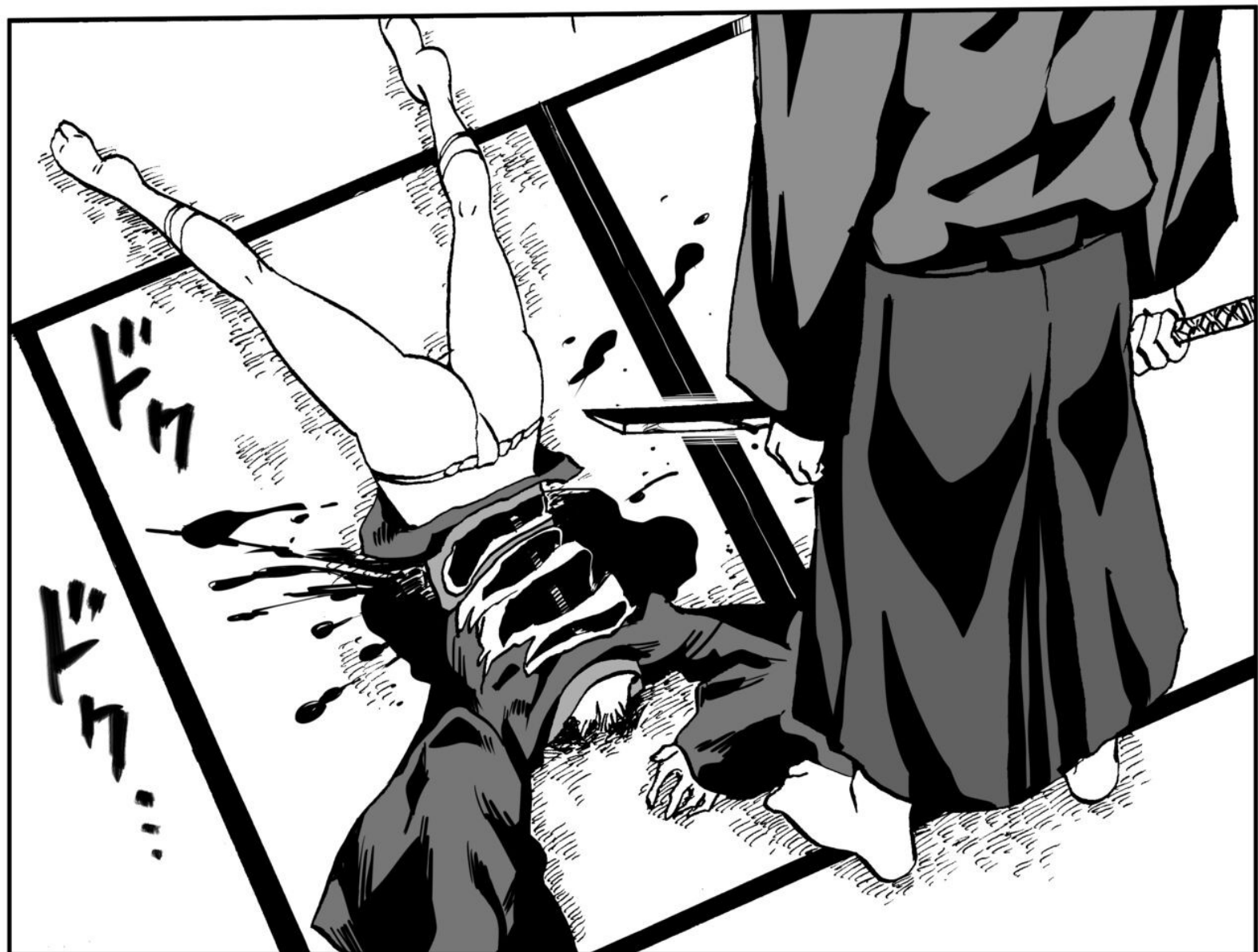
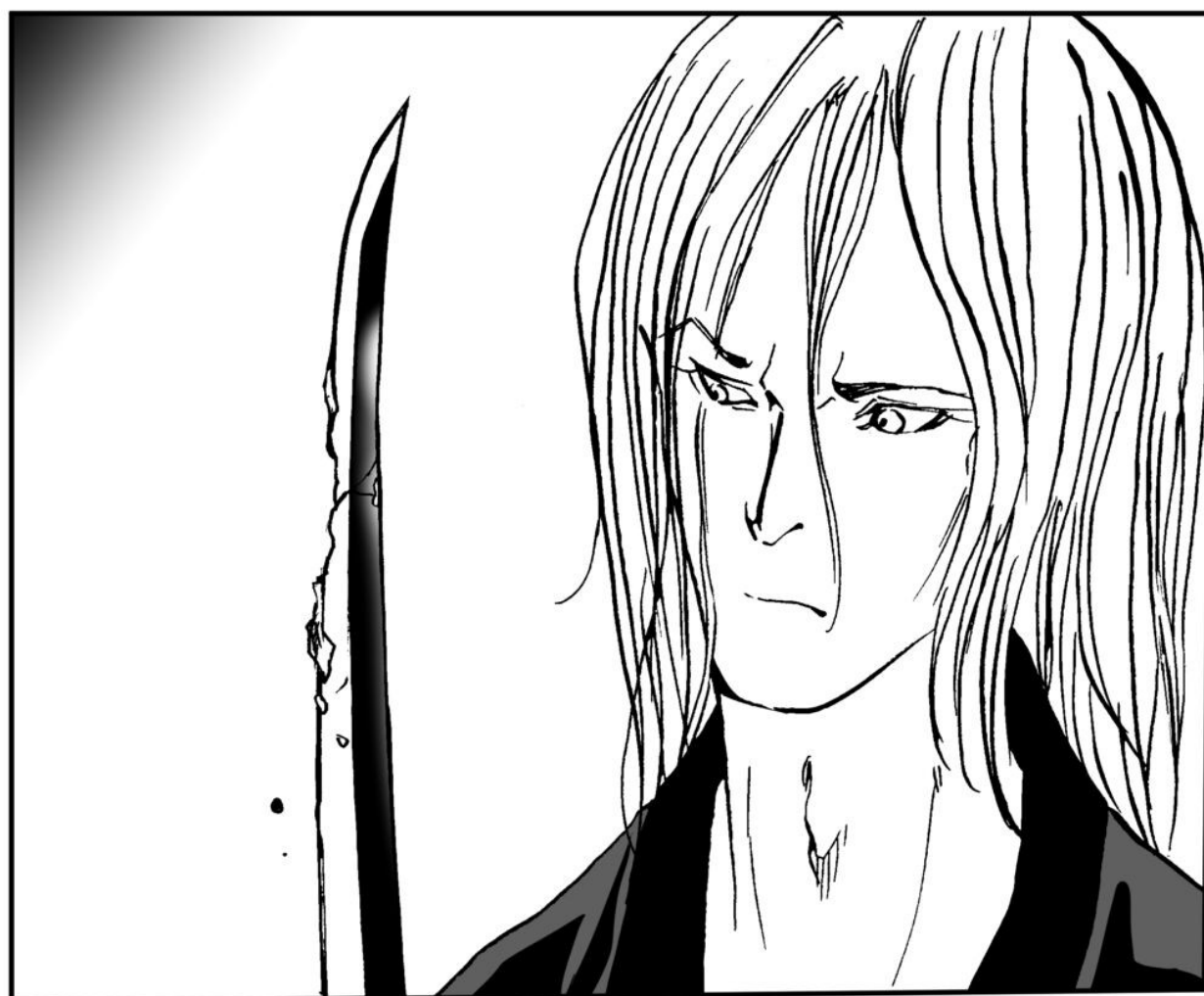


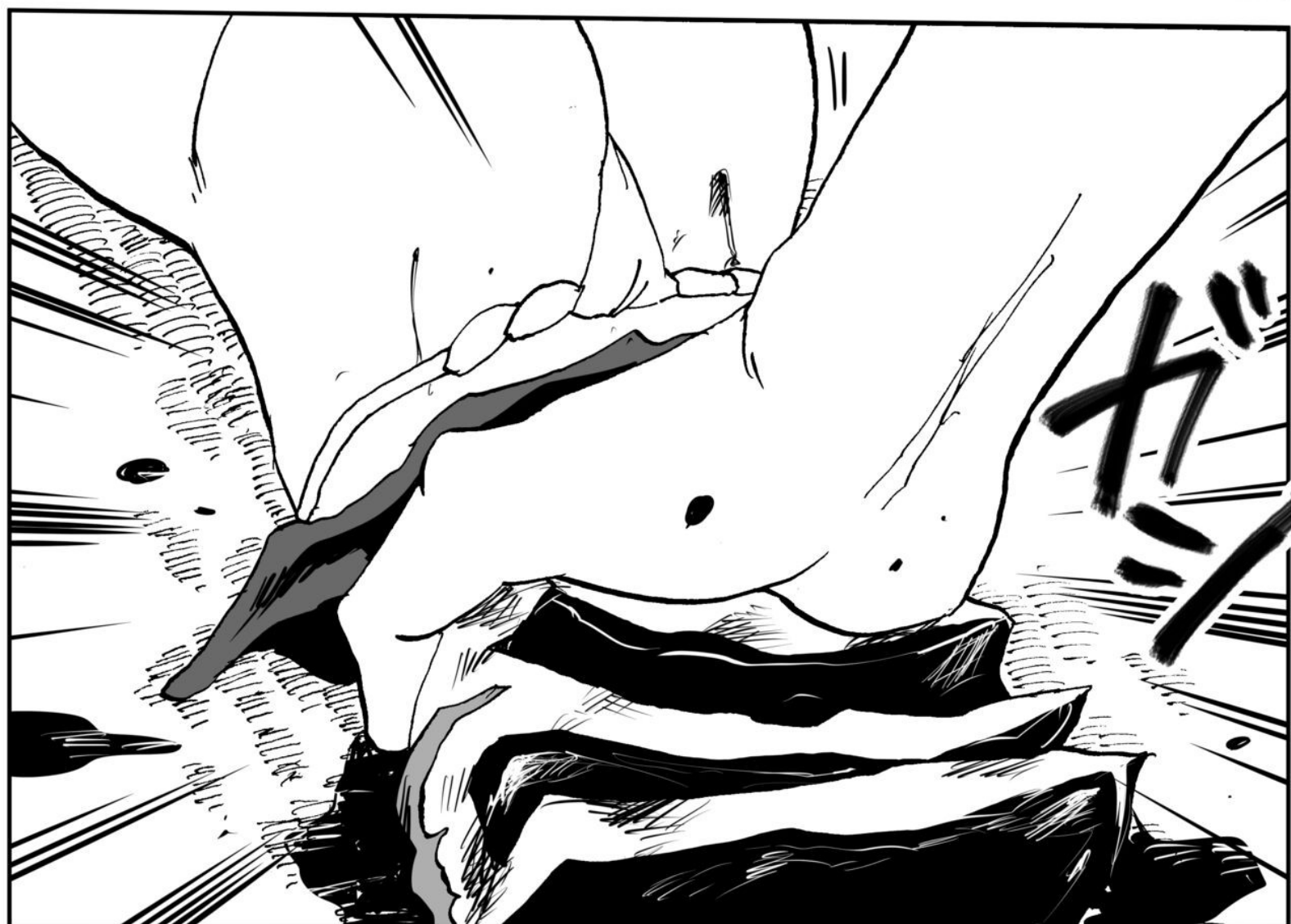
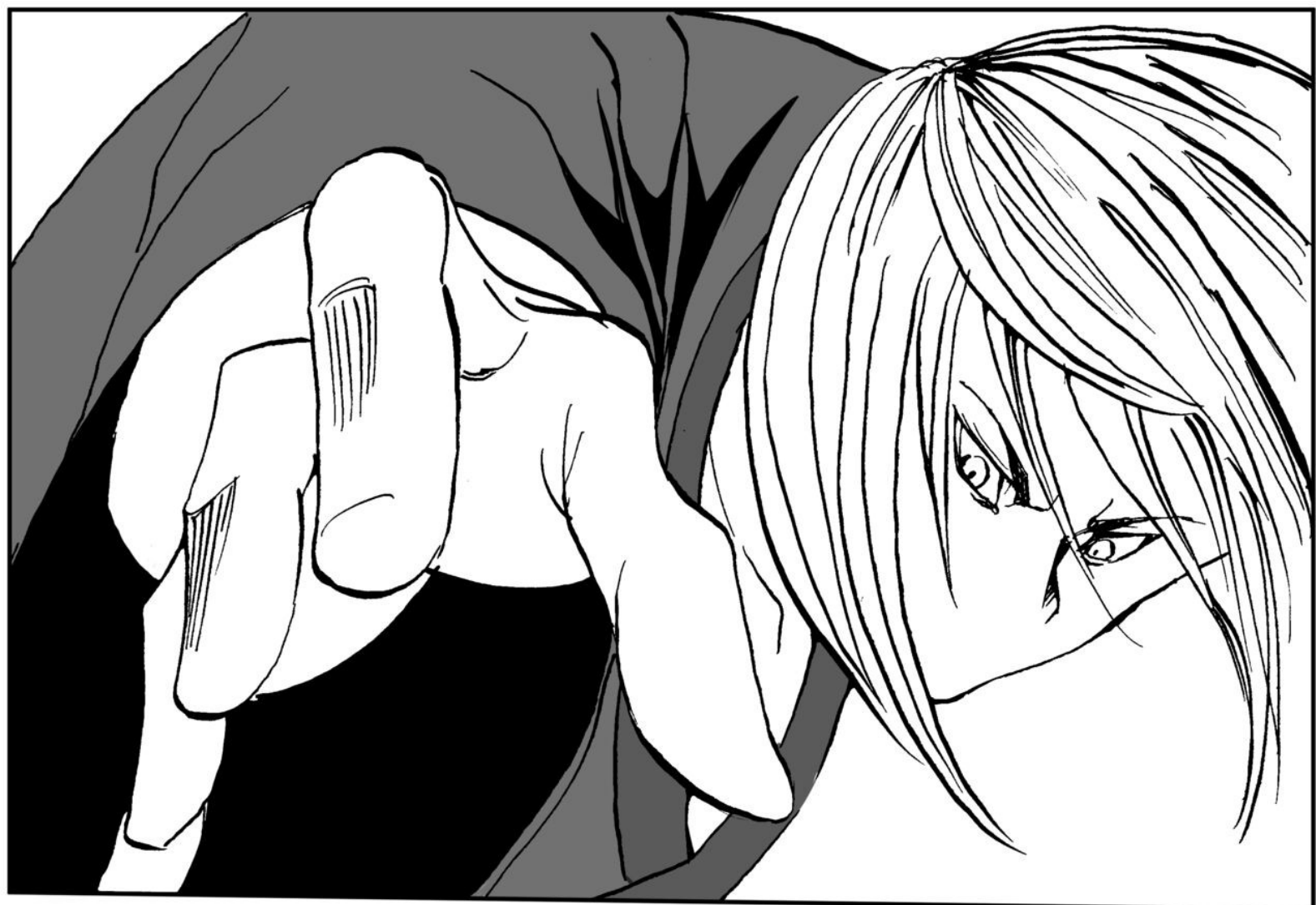
美しい縞だしま

この技を食らい
立ち上がった者はいない

ギョ



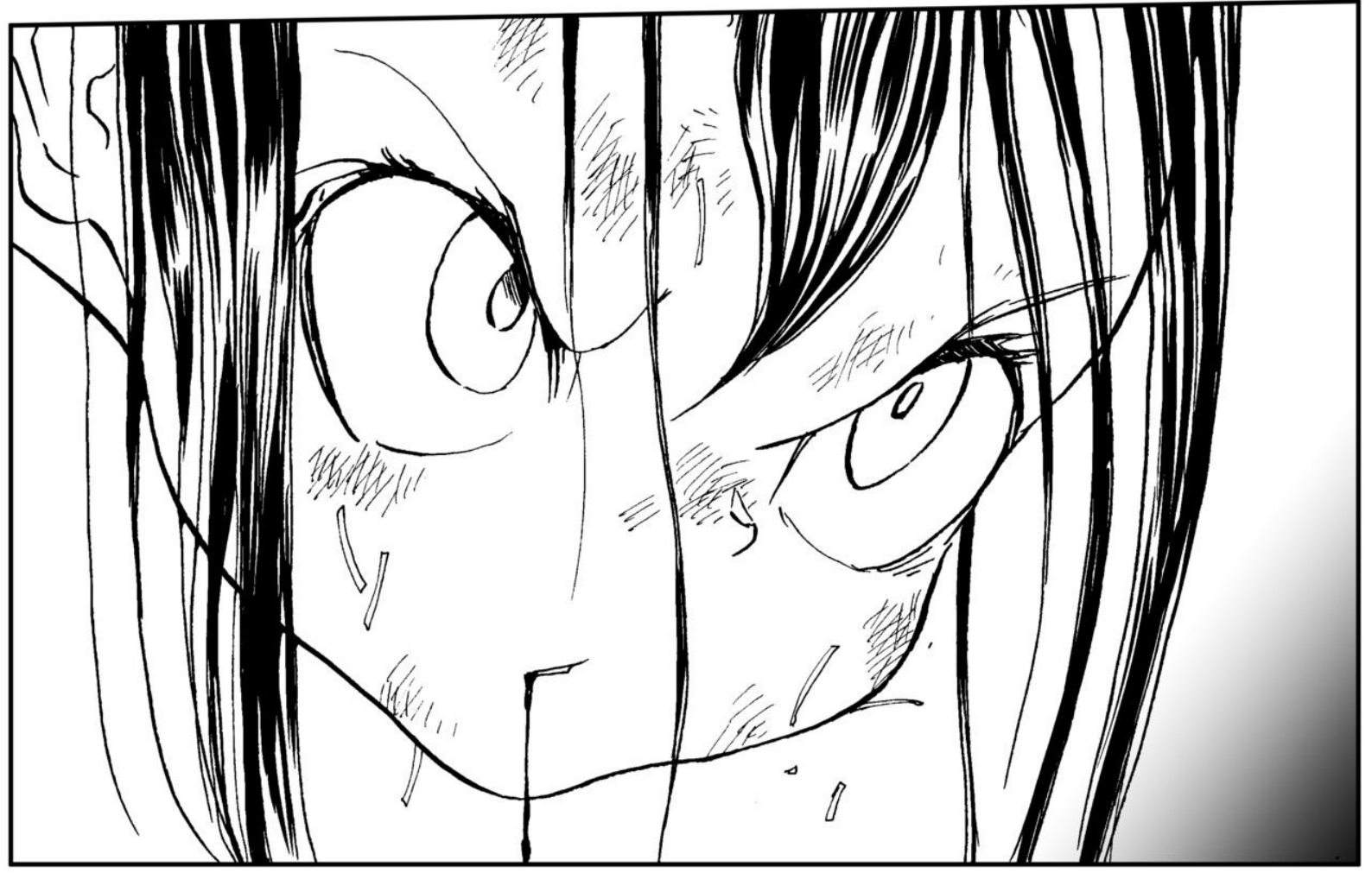


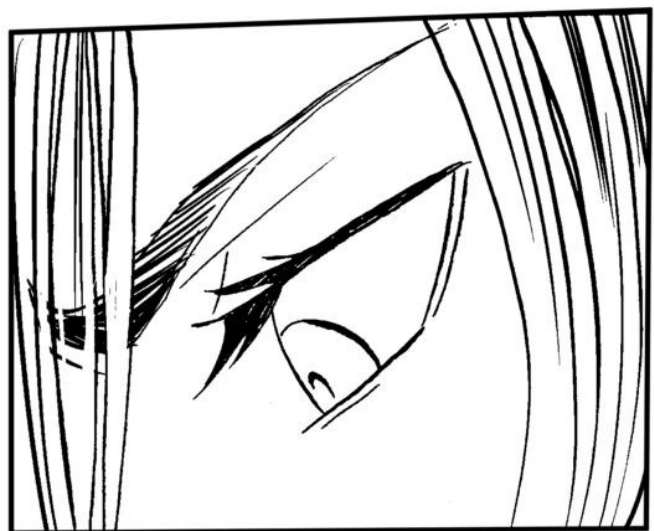


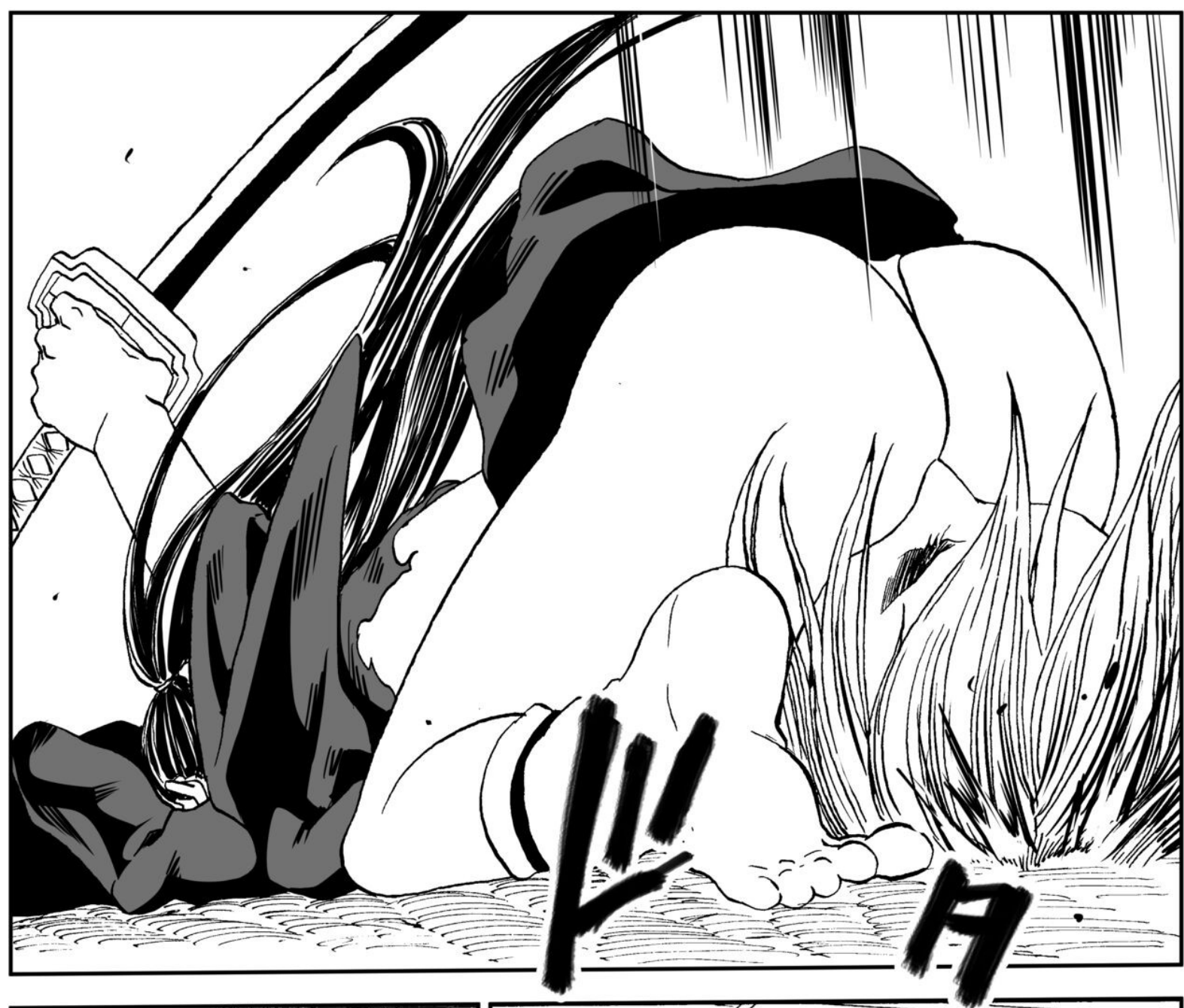


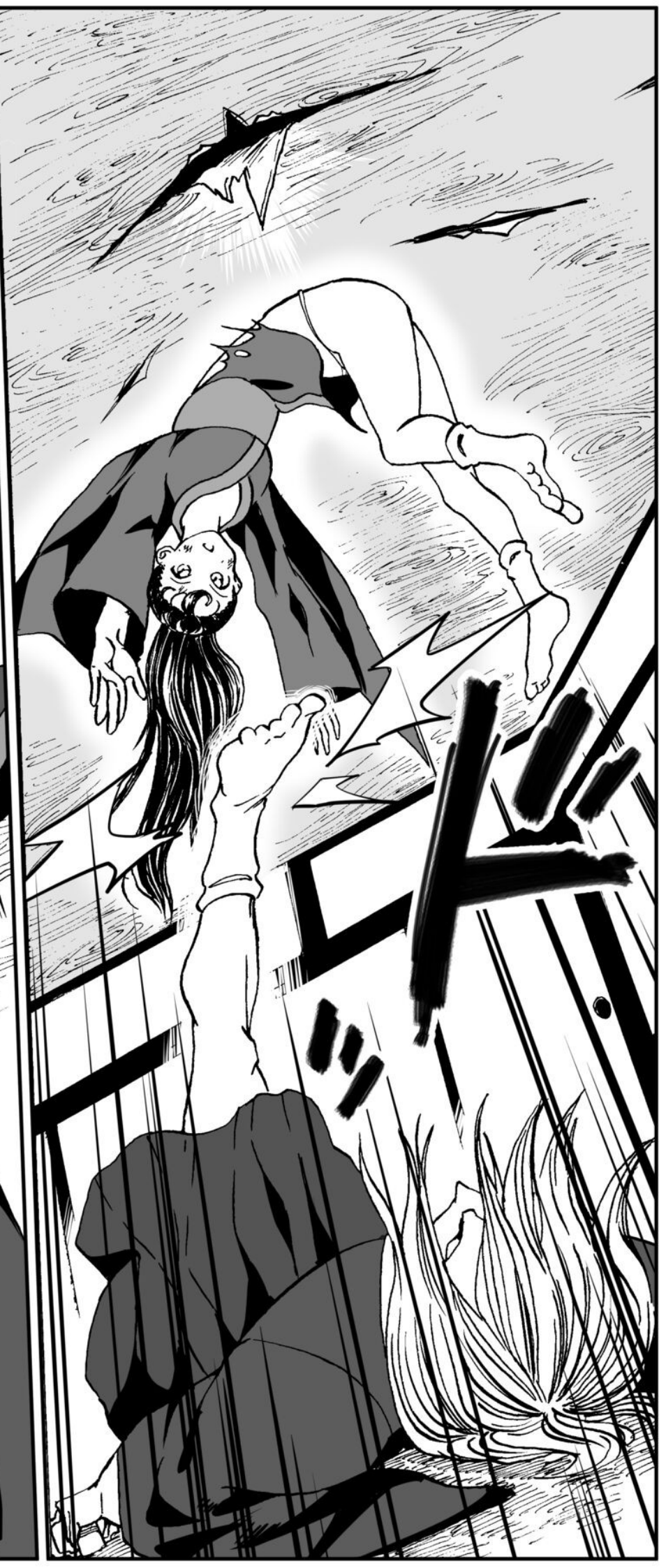
あるじ
主の名を
言え

死ぬ前に

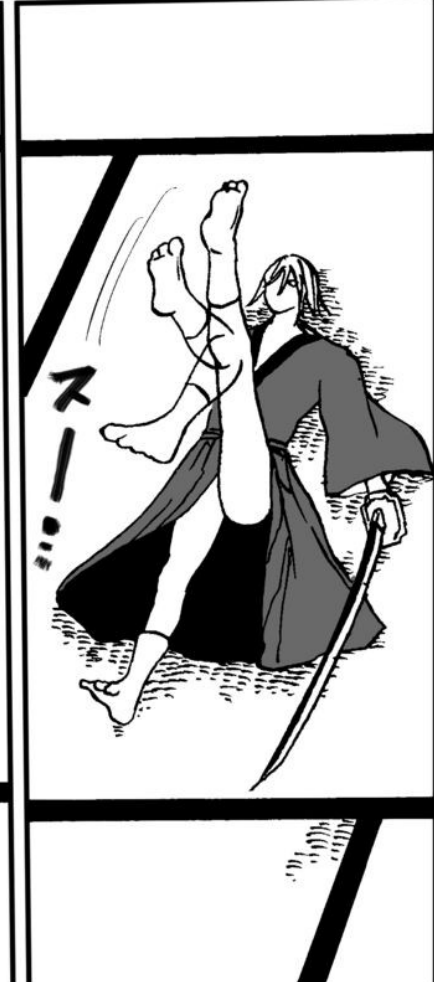
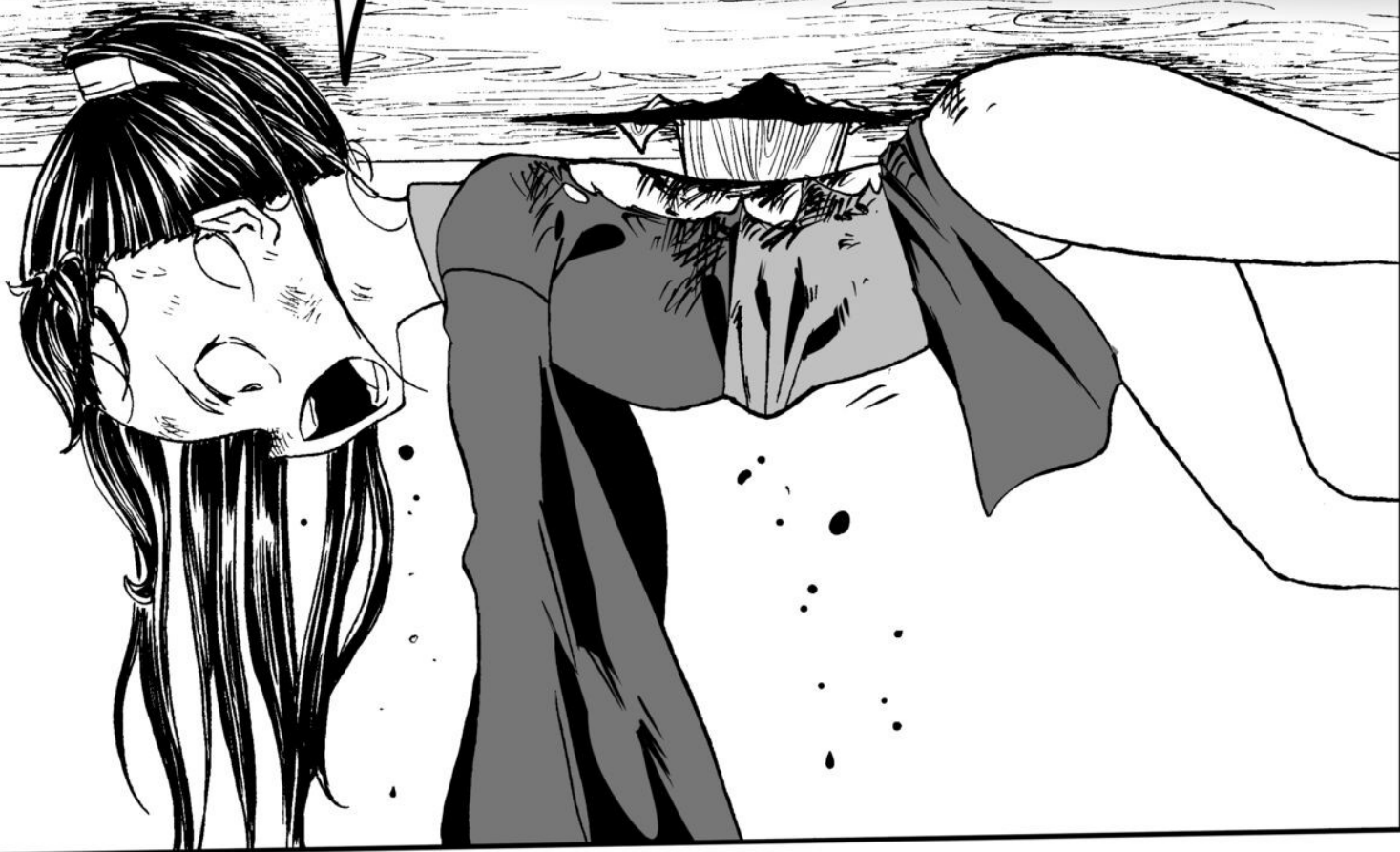




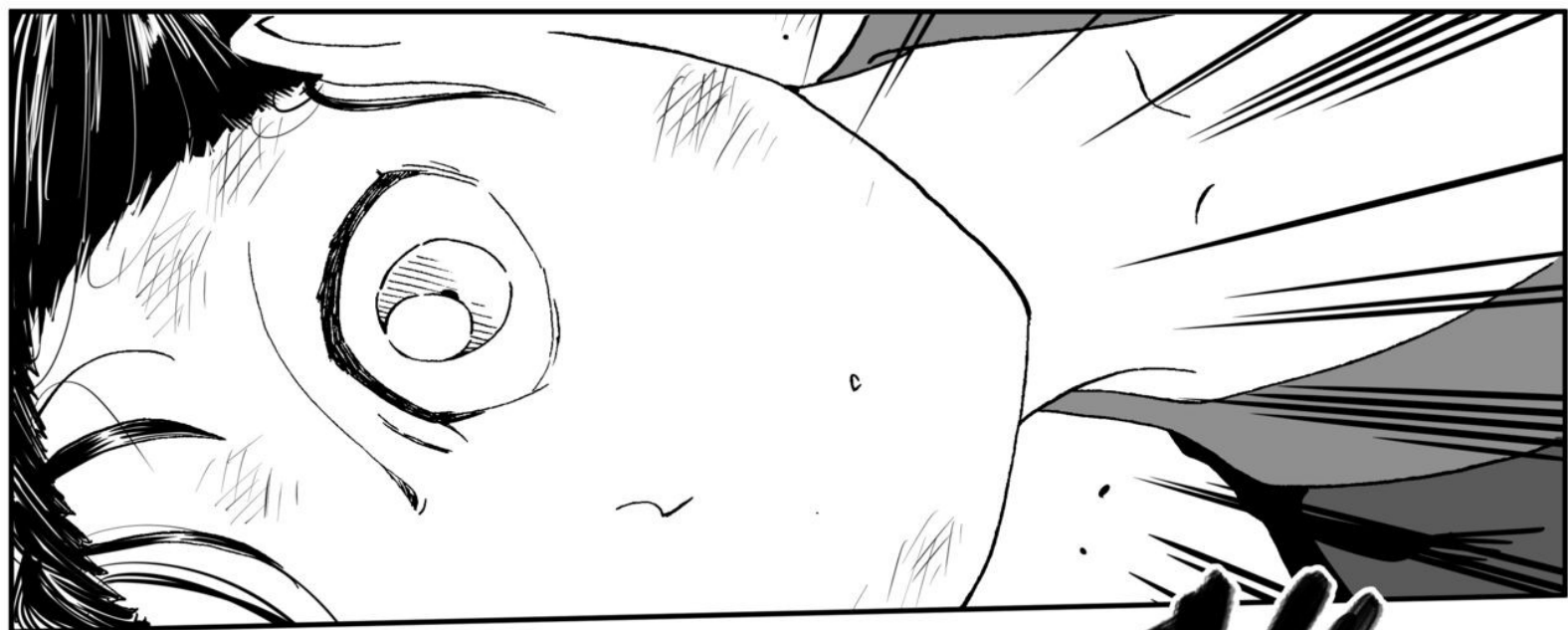




ぐあっ・・・ああ・・・



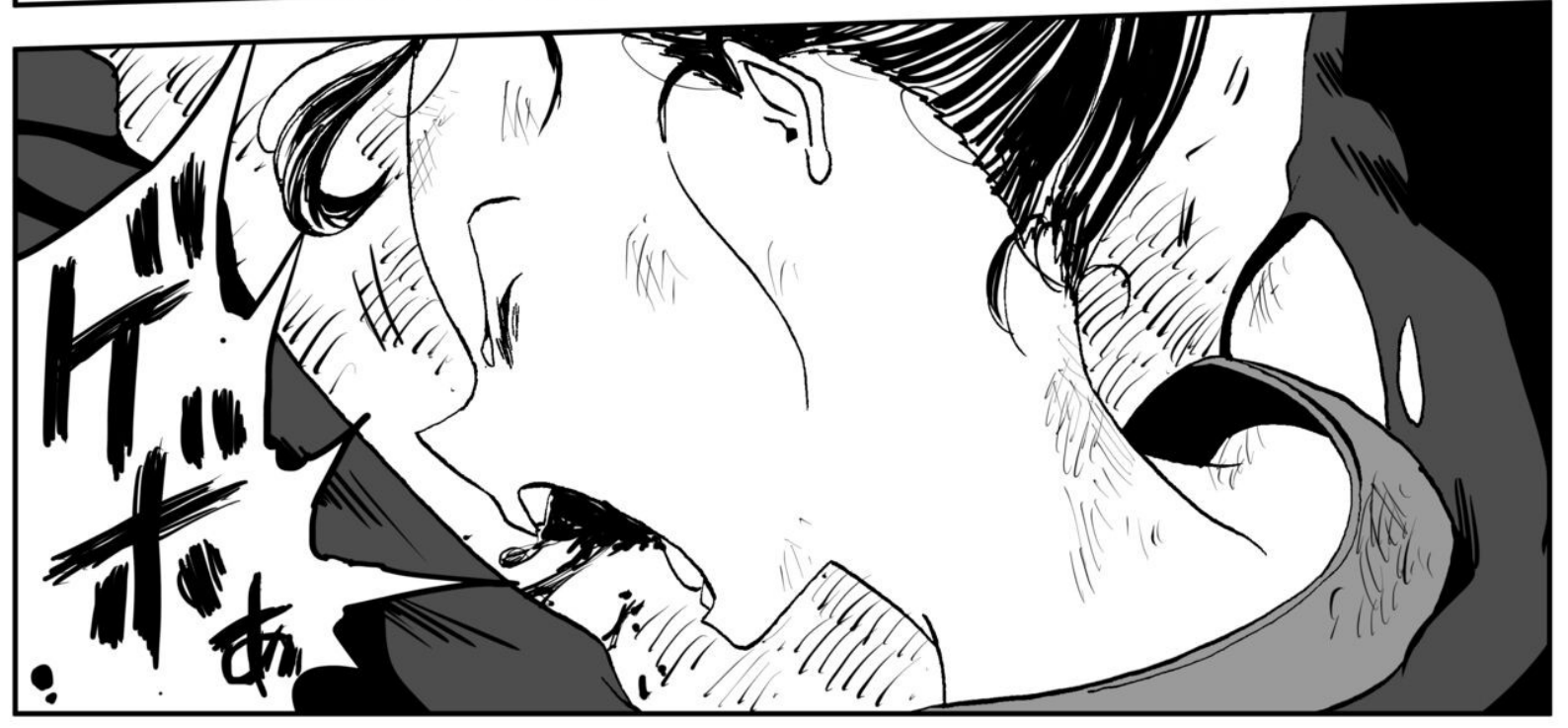


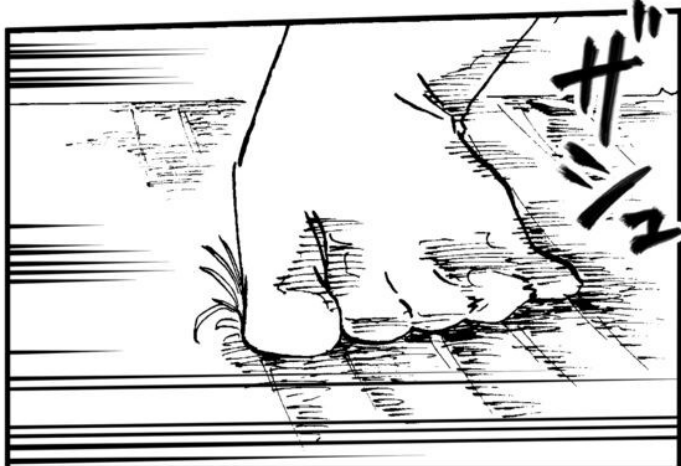
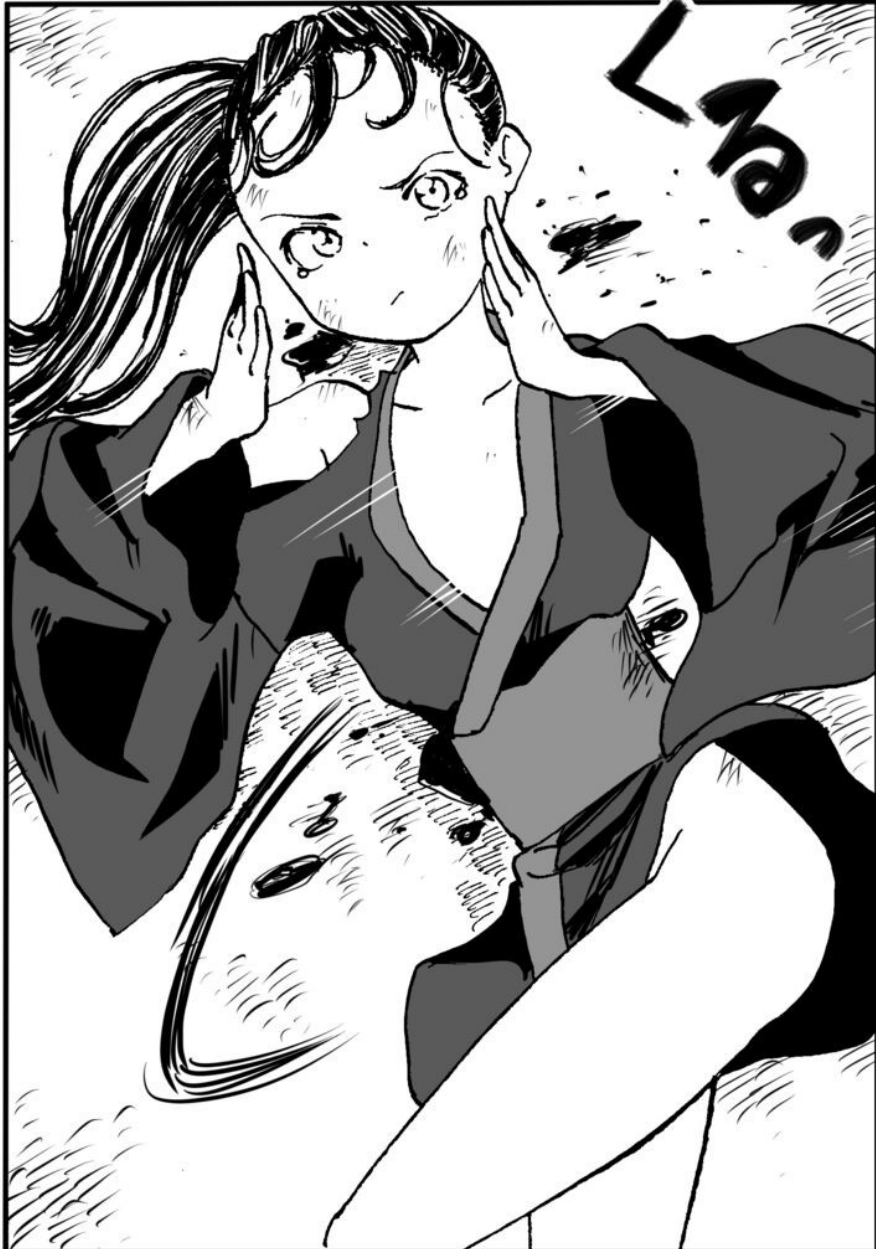


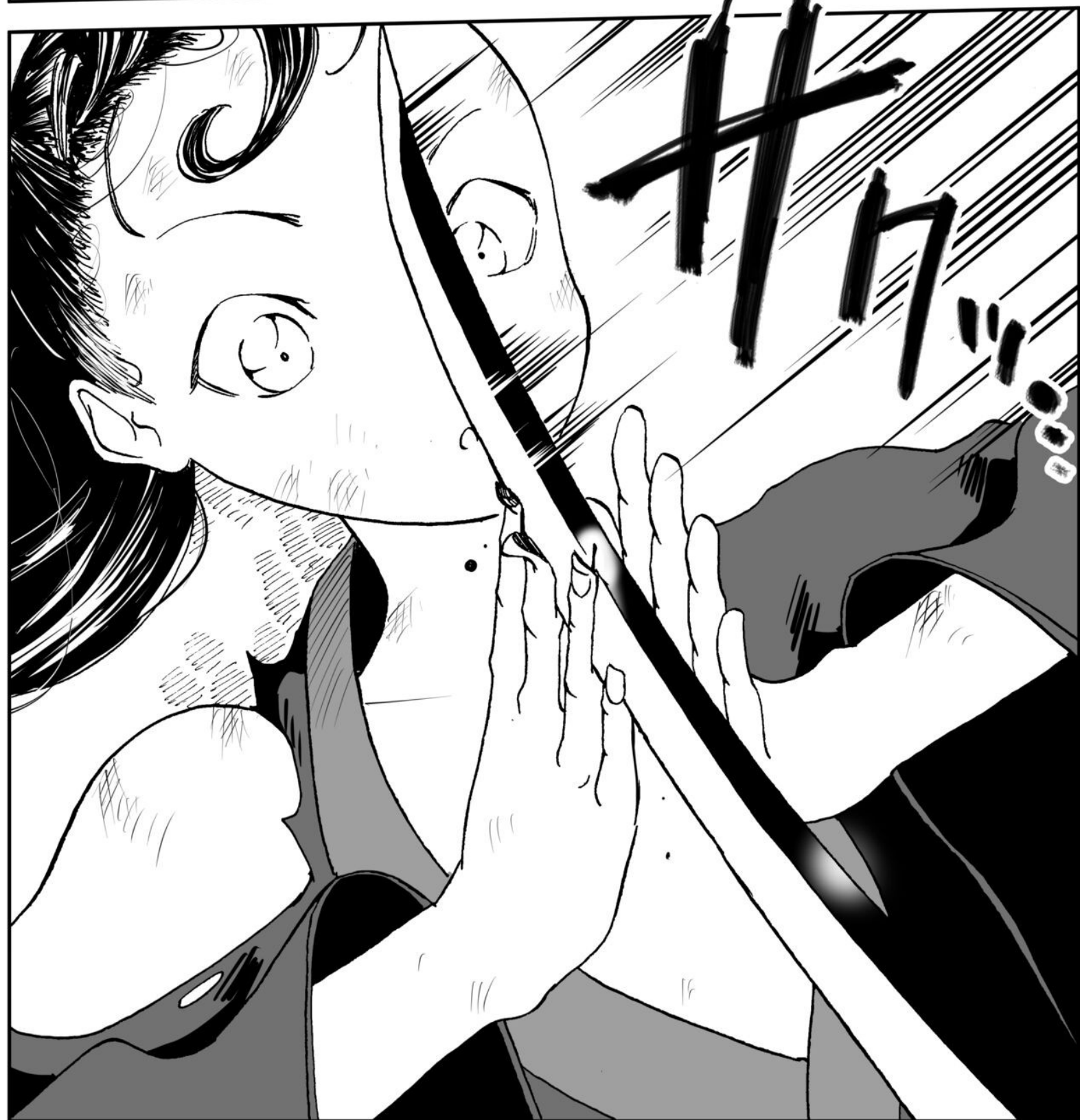
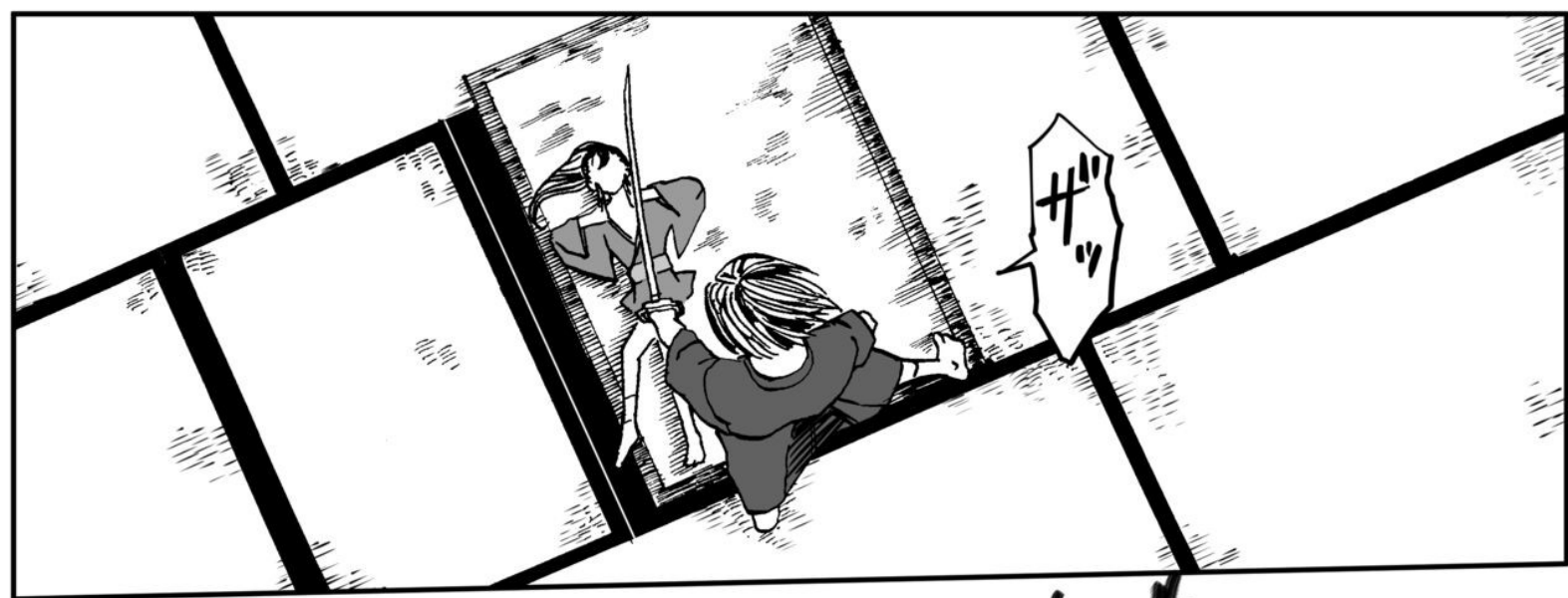
グググ!!

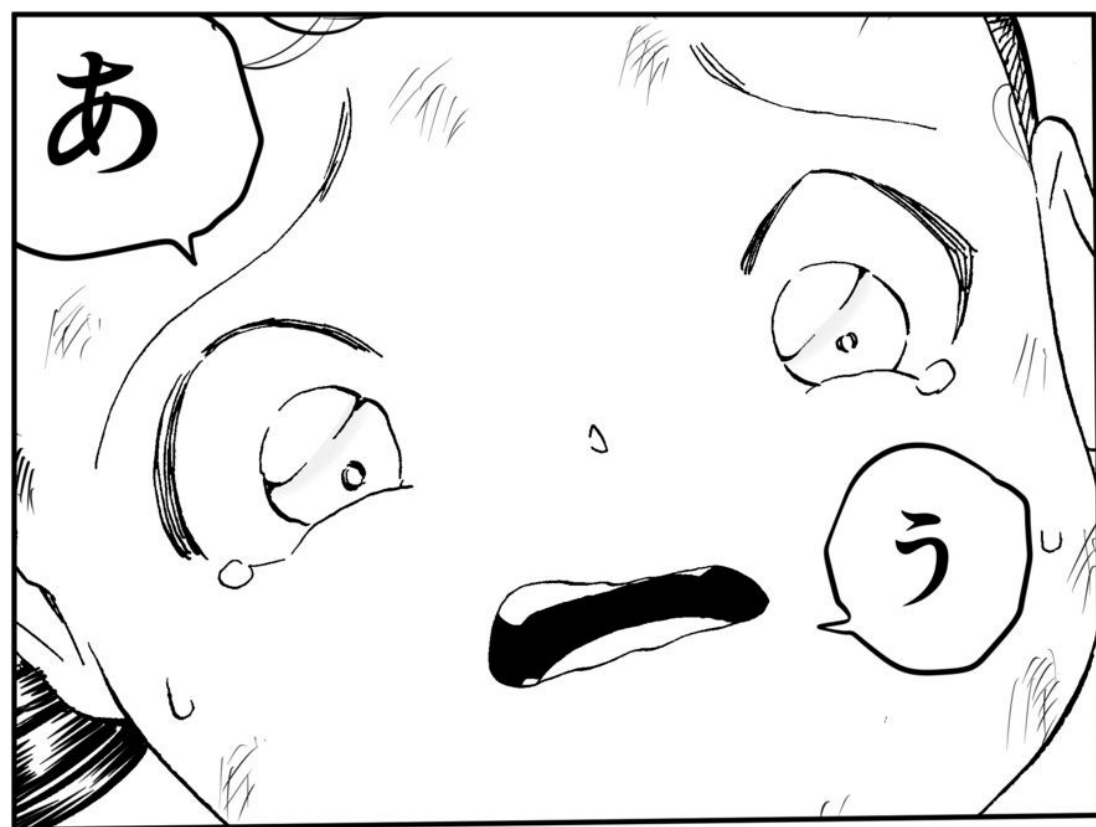
うわあう!!





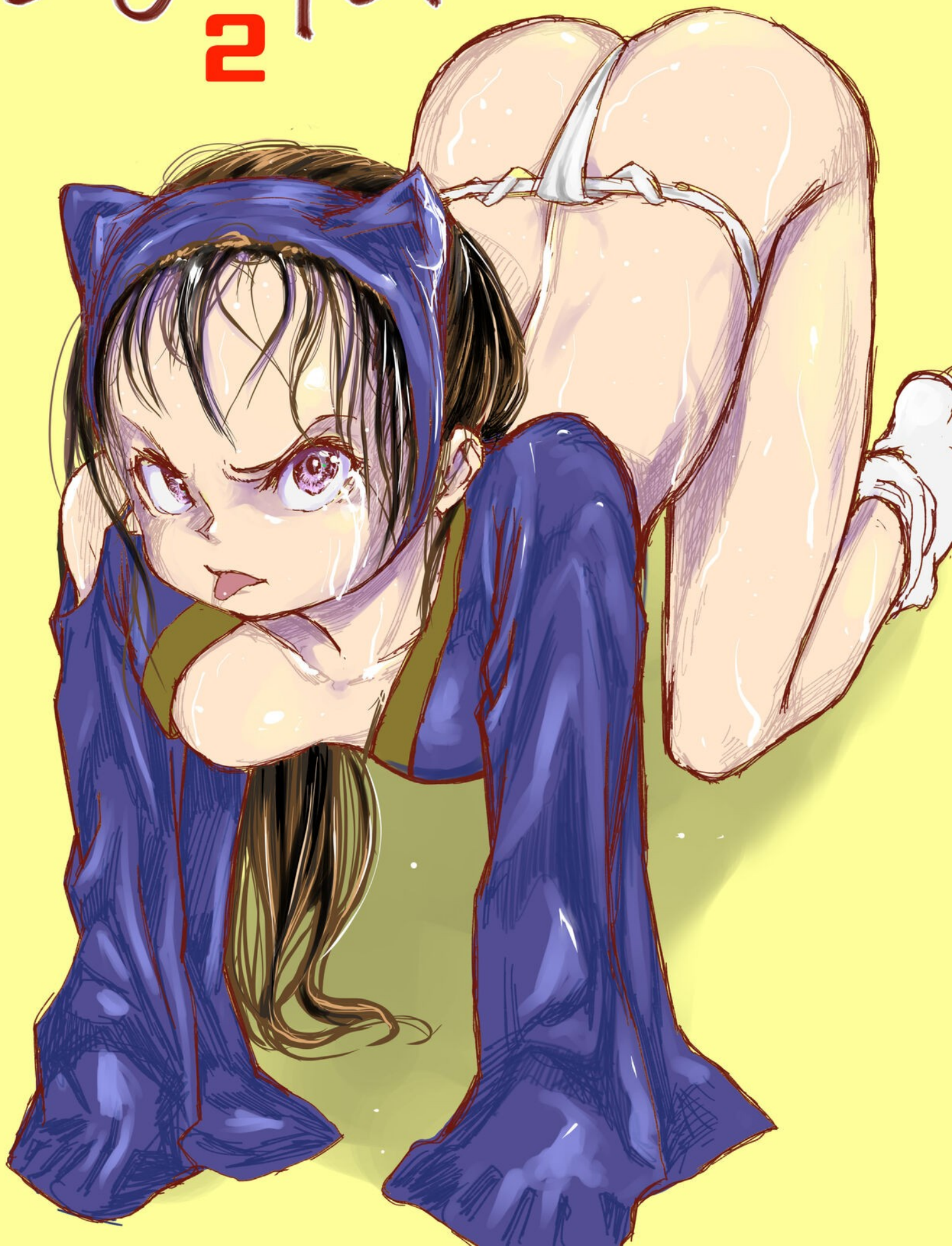






しのびのザンム

2



やめて！これ以上
村の者を連れて
行かないでくれ！

助けて

いやあああああ

ハナを返せ！

城には連れて
行かせん！！

何故だ……

連れ去った

人達を

どうする

つもりだ……

人喰い将軍

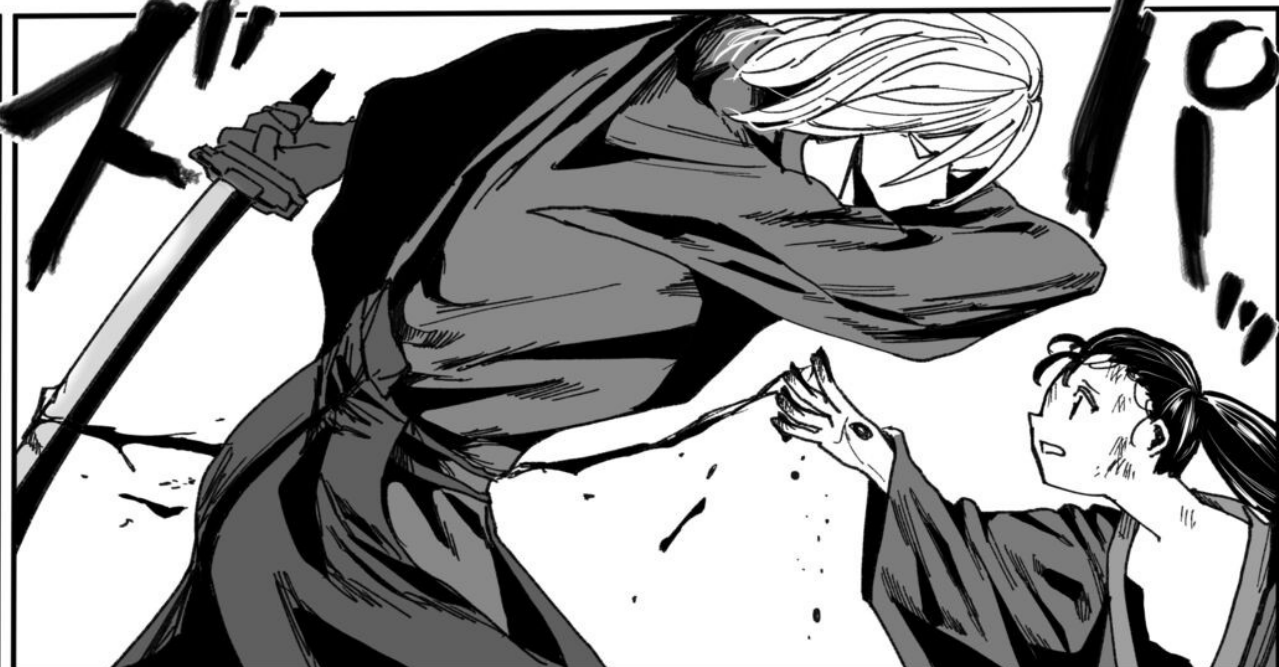
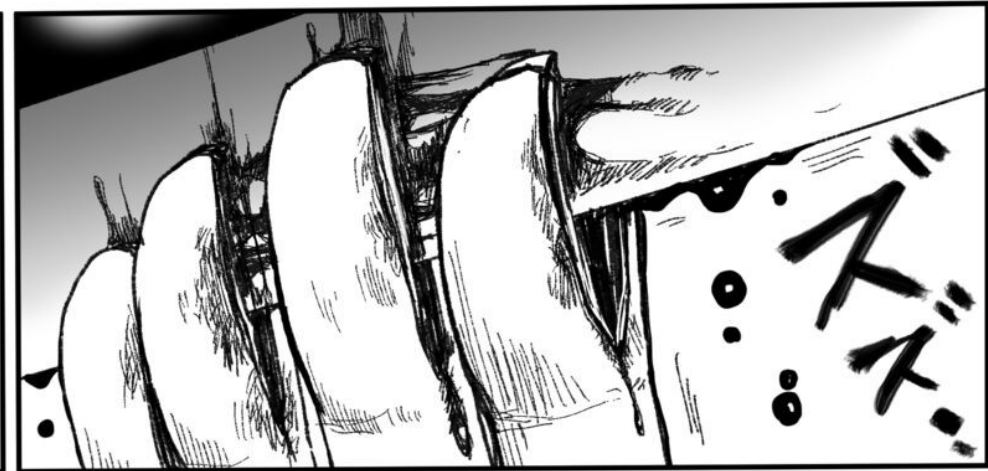
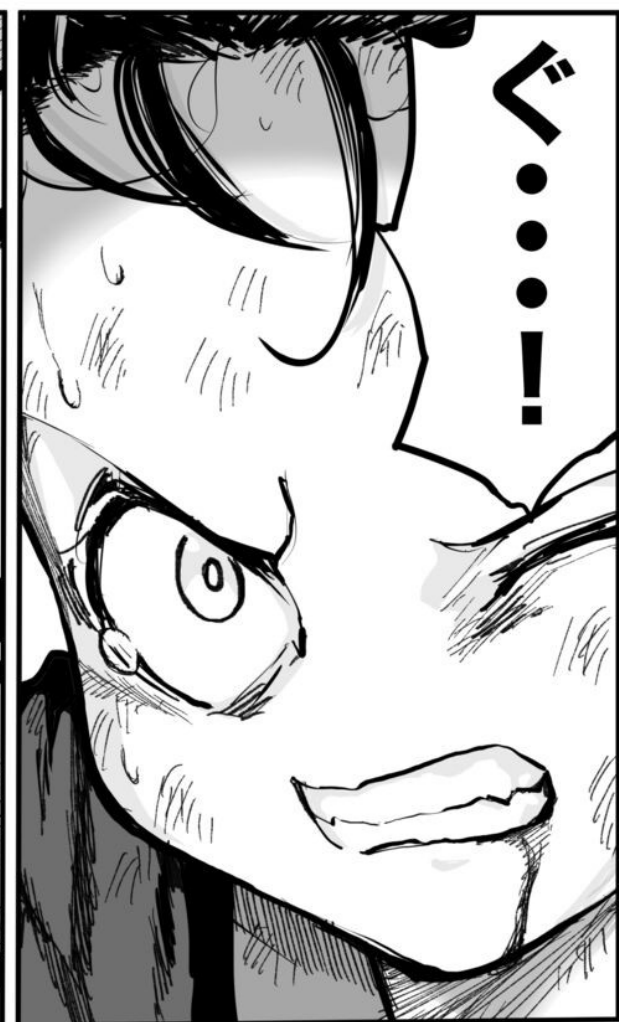
きしまりゆうぜん
輝島龍饅……

城で皆
食べられる
という噂は
本当なのか
……？

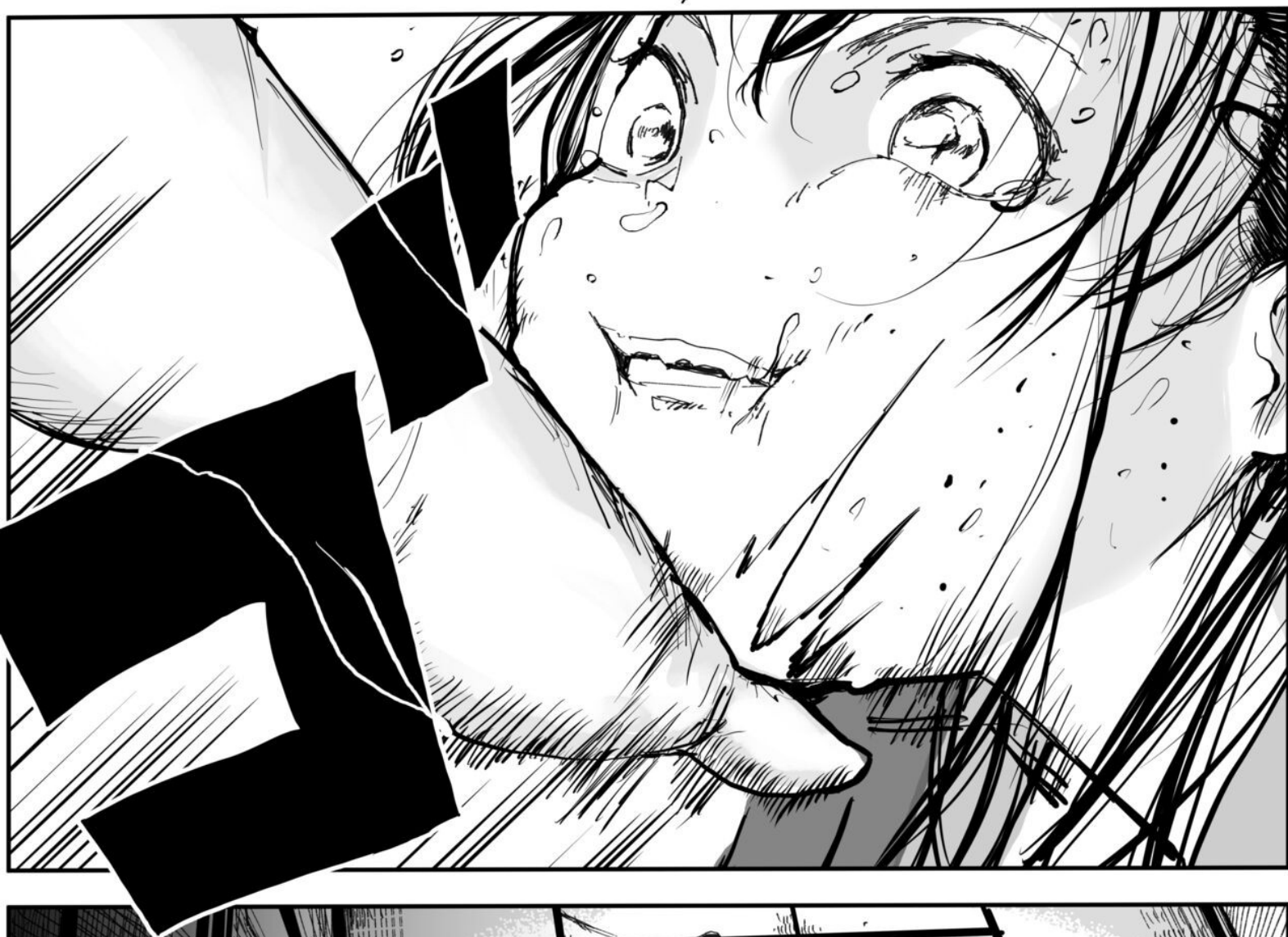
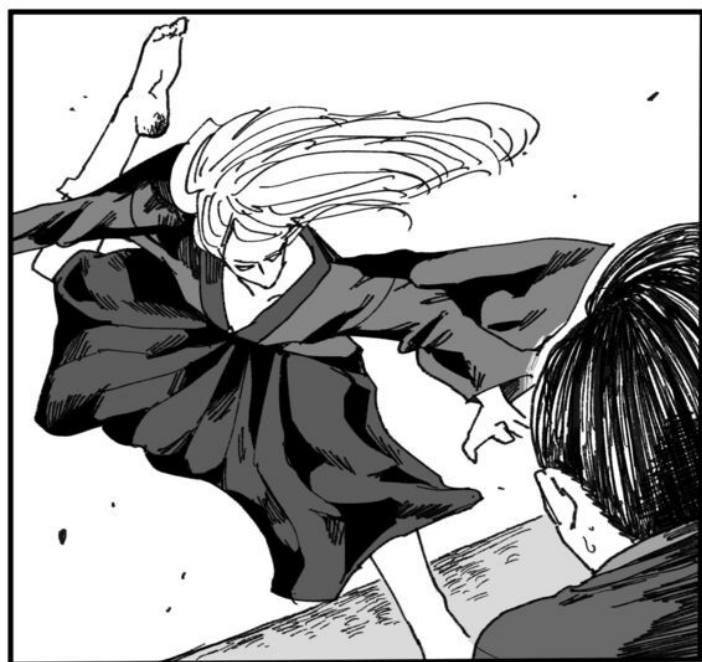
わたしが……

いや某が……

やるしかない！









ザンラン
斬嵐
見なさい



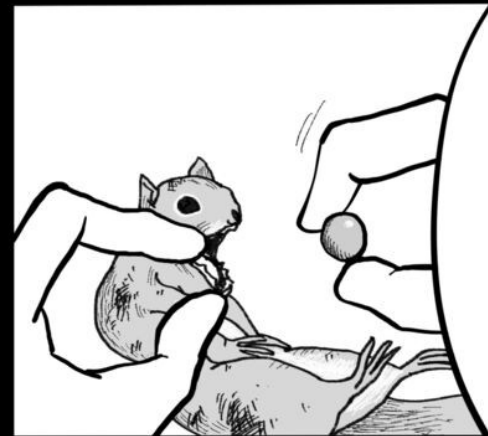
何ですか
師匠

死んだ
リス?

悪趣味
ですね

おだまり

この
秘伝の丸薬を
与えると……



ガカリッ

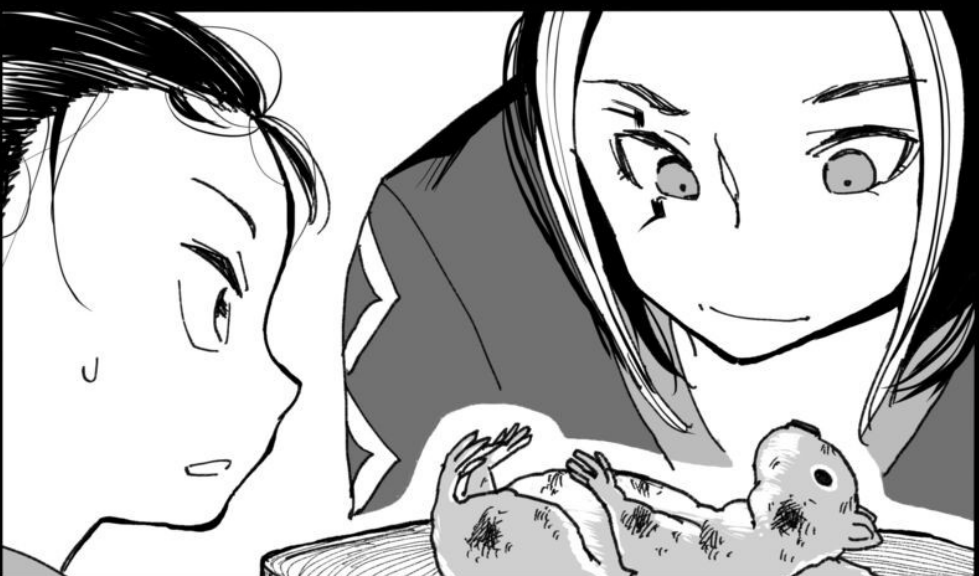


ゴクニ

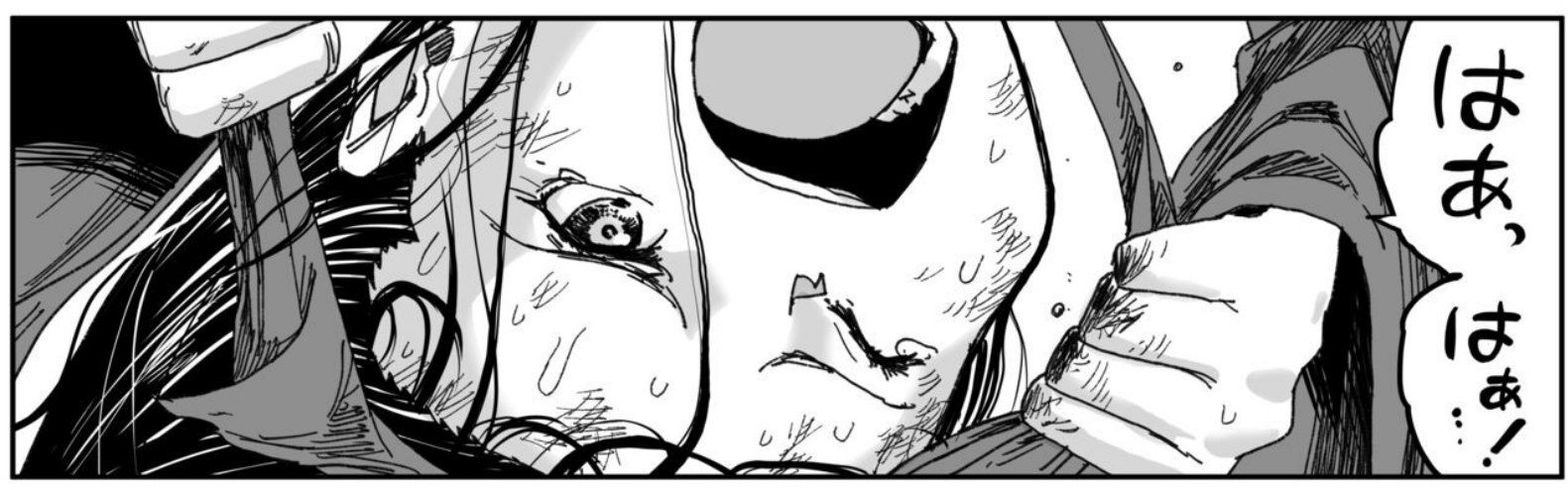
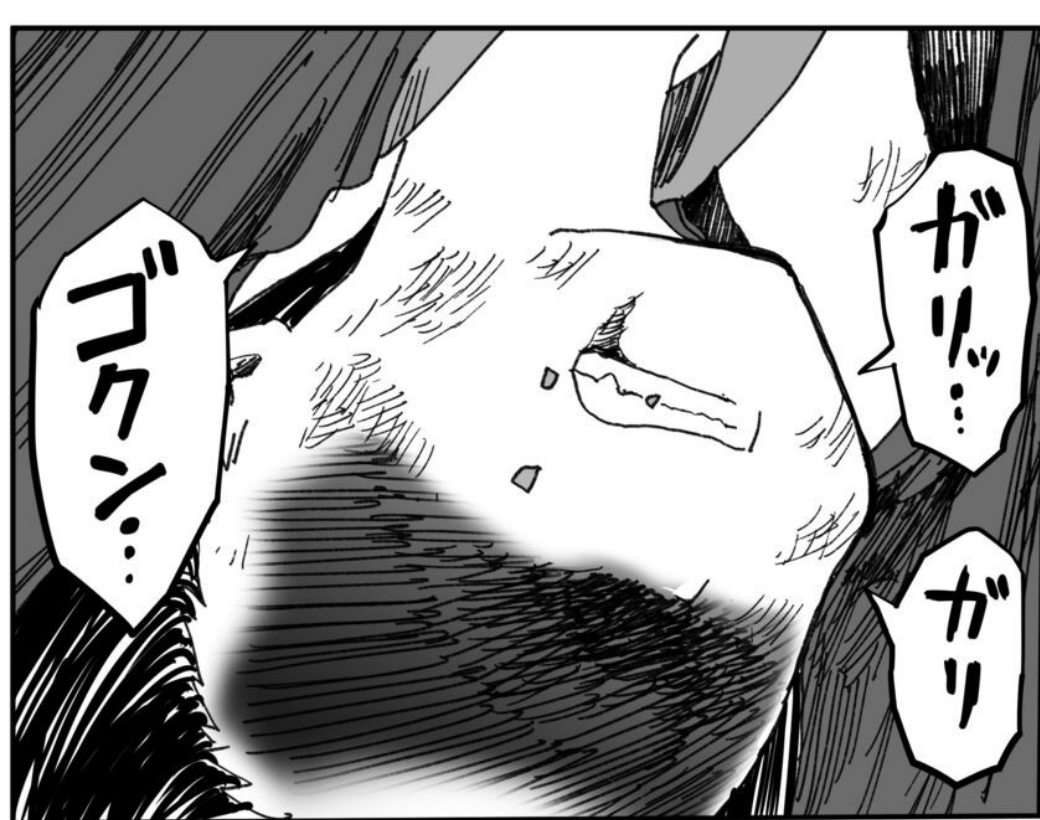


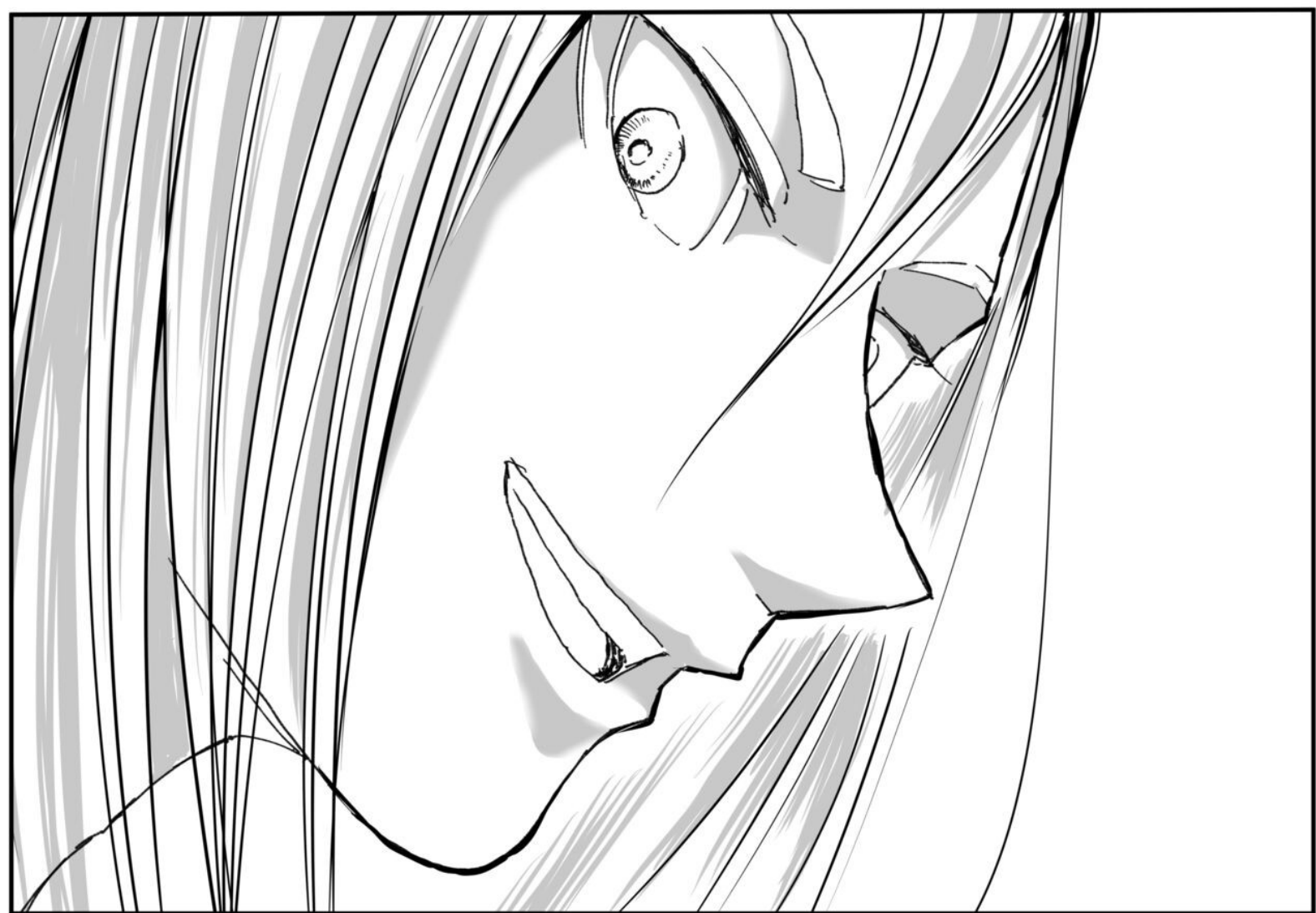
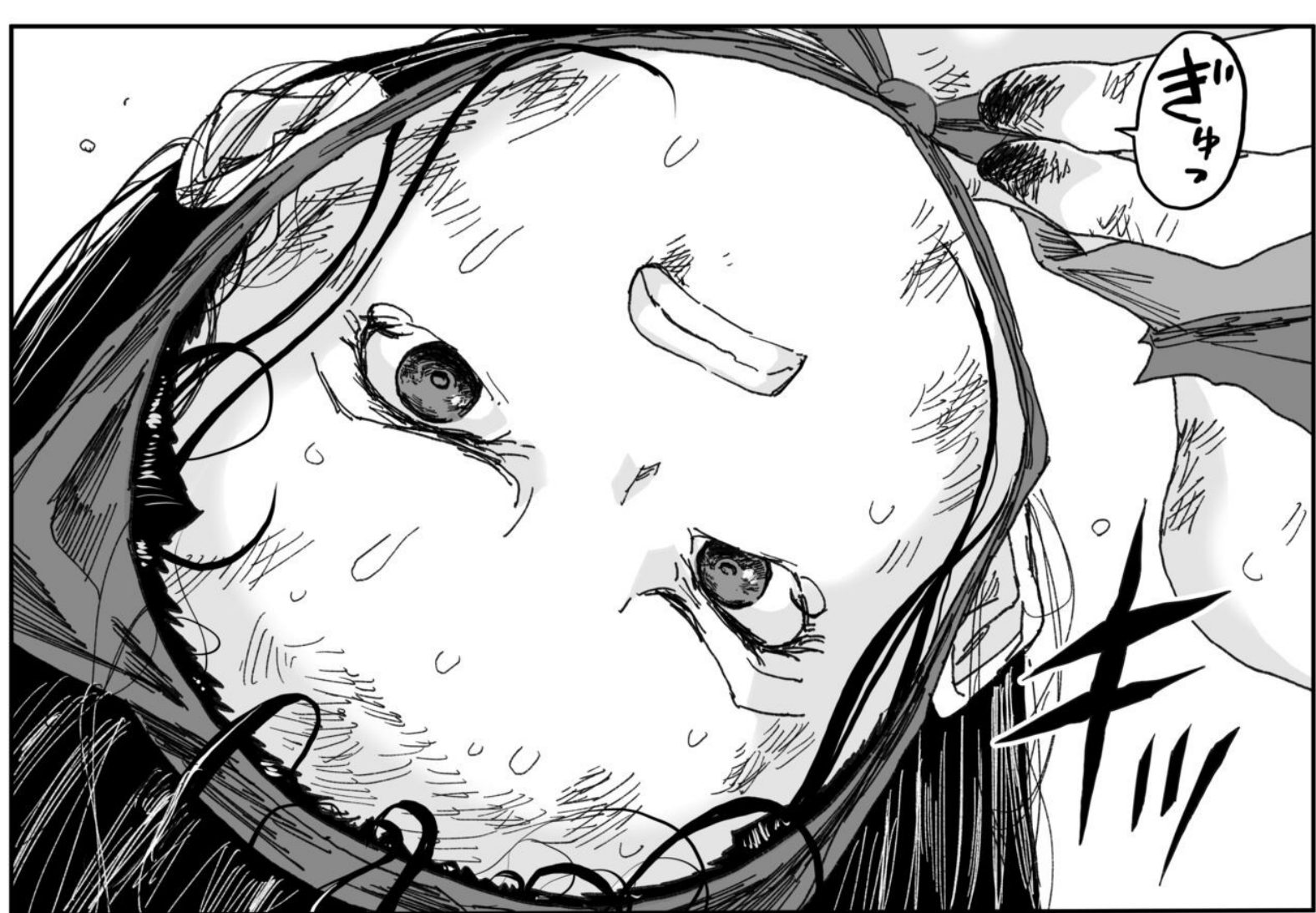
え？

うそ……
ですよ？











ハナ!?

ジロウ...!?

ザンラン
ちゃん...!
!?

連れ去られた
皆がここに...?!

何をされて
いるんだ...!

知り合いが
いるのか?

誰も知らないし
それがし
あるじ
某に主はいない

某は単独で
きしま
輝島を殺しに来た
異国の者だ

不死の忍術を
使ってまでか?
!!

この近辺に
きんぺん
伝わる秘術と
聞く...

芯のある忍ほど
しのび
厄介なものはないな

尻を舐めろ
な

え……

こいつらの
尻だ

ただし
普通に舐めるの
ではない
これを舌に塗れ

のうさん
濃酸だ

!!

んんん
んんん
んんん
!!!

誰かが知り合いたと
白状すればそこで
やめてやる

あんたの出身地が
わかり次第……
將軍殺しの連帯責任
として

その村の民は
皆殺しだ





鉄も溶かす
強酸だ

早く白状
しないと
喉^{のど}まで
ただ
爛れるぞ



そいつはお前の仲間か？

ひ……ひはう!!
(ち……違っ!!)

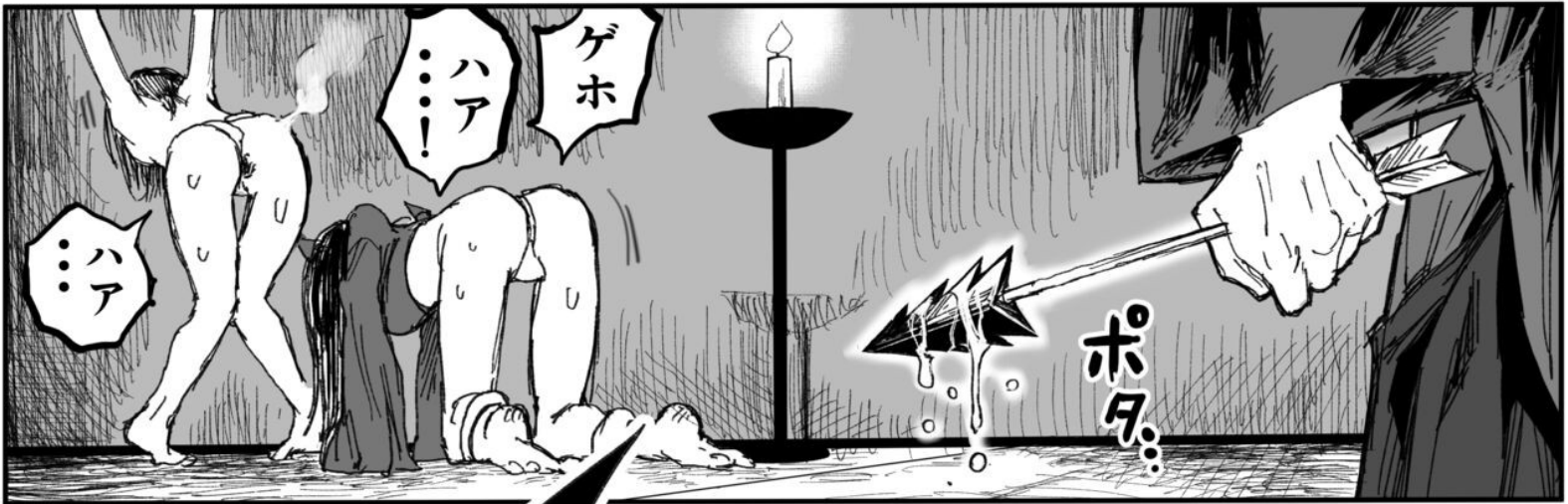


ポタ...

ゲホ

ハア

ハア



ウウ!!



びよ
おんっ
!!!



一人舐め終わるたびに
酸を塗った矢を刺す

どこまで隠し通せるか
見ものだな



次だ!

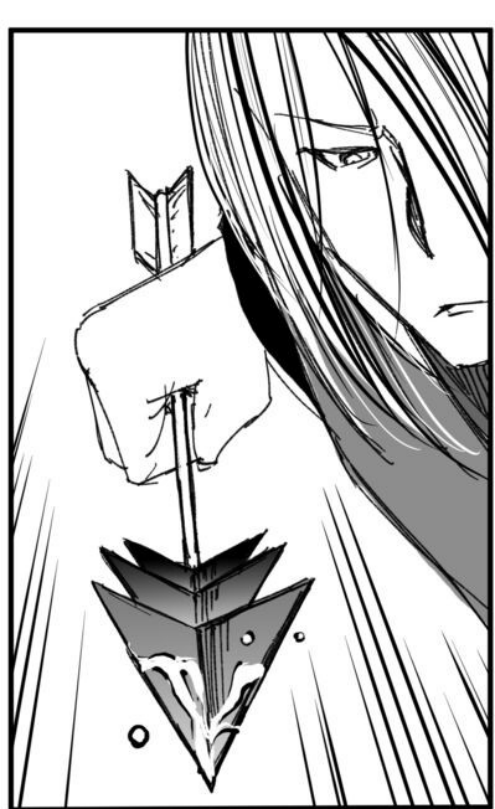
あぶ!!

ジュウウウ

びんぐん!

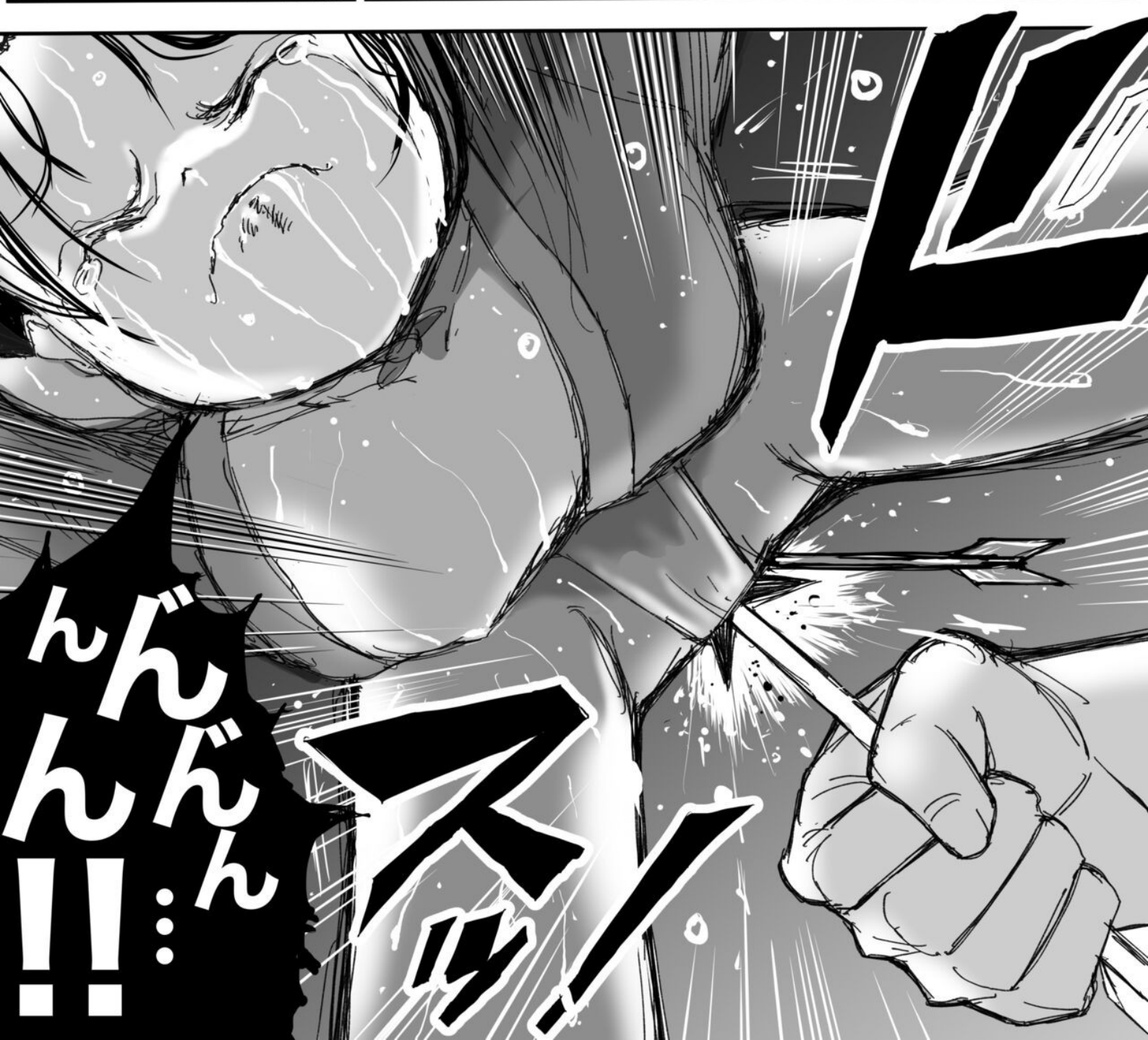
ひゃあああ!!





こいつは
仲間か？

ひ…ひ…
ひなはい!!
(知らない!!)



んん
んん
!!ん



次だ

ひょいっ

ま...!!
待て...!!



早くしないと
糞尿ができなく
なるぞ

ううううう

ザンラン

ううううう
う...!!



あーあーあー!!

んぶ

んぶ!!



ひらはいひほは
(知らない人だ)



！
痛くないが酸を
ザンが酸を
ほとん飲んで
くれてるんだ！



きゅん
んんん
んんん
んんん
！

ビクッ

ズン
ズン
ズン



順番を
間違えた

すまん

痛い
痛た!?

まだ
答えて……な……

穴が狭すぎて
これ以上刺さらん

一度引き抜いて
広げるか

じっとしてろ

!?!
やめ……



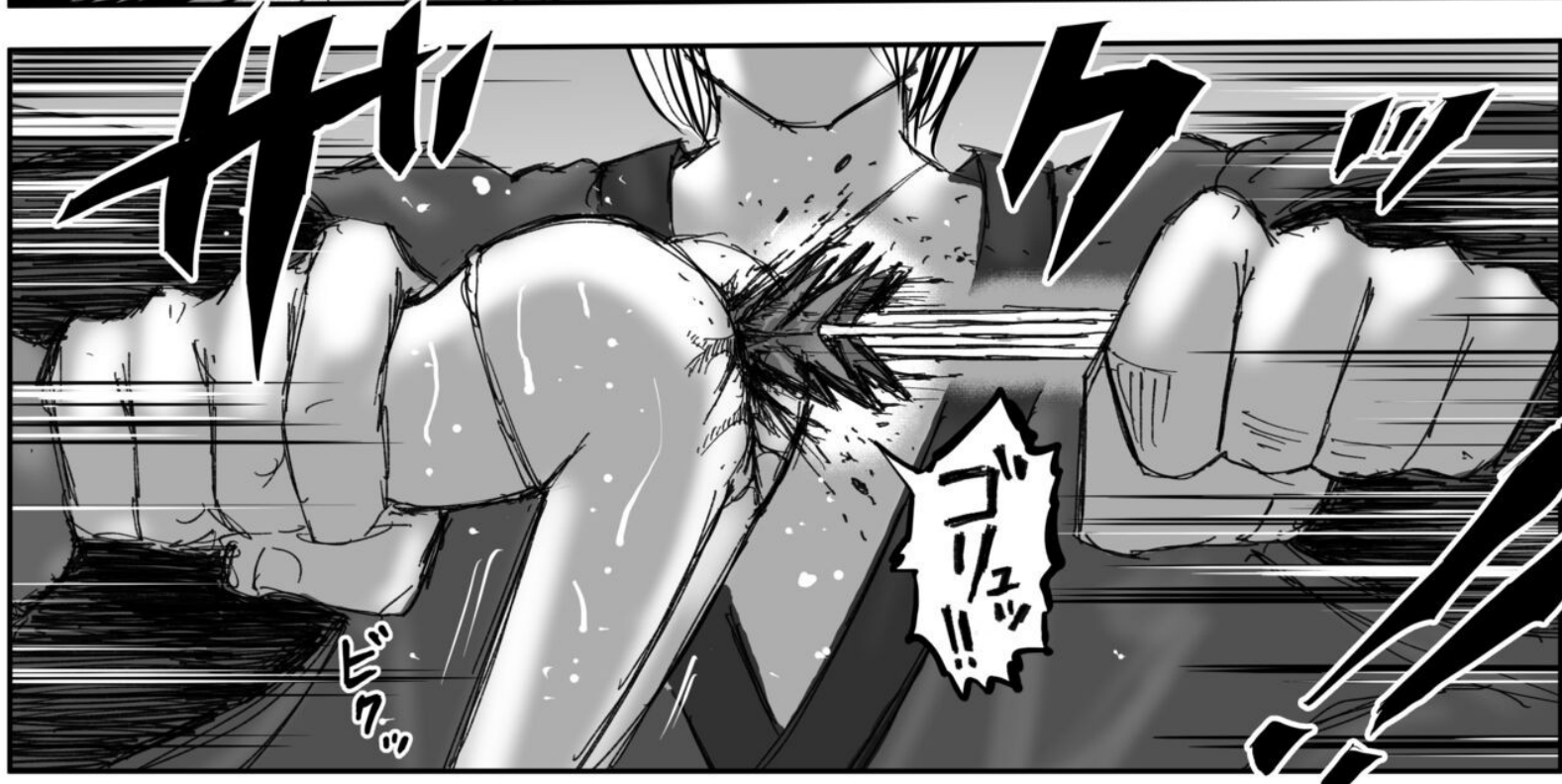
きゃあああ!!



あああ
あああ
あああ
!!









再開だ

あ...あ...

ポタポタポタ

ひっ...!!

あ...あ...あ...!!



ぶご...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...!!

あ...あ...あ...



あゝあゝあゝ!!!

ド
チュ
ッ
ッ



こゝは？

はか
はひ
ゃ
は
い
……
(仲
間
じ
ゃ
な
い)



趣
向
を
変
え
る

今
度
は
目
隠
し
を
し
て
誰
の
尻
か
を
当
て
て
も
ら
う



口
を
割
ら
ん
か
……
ま
あ
い
い
か
……

え…

きゅん

な!?

今舐めた者達だ
味を覚えたか?

ひっ
また…!?

髪型や体格でいい
誰の尻か答えろ!

ぶん
…!

ゴム

いやああ…

叫び声を上げるな
手がかりになる

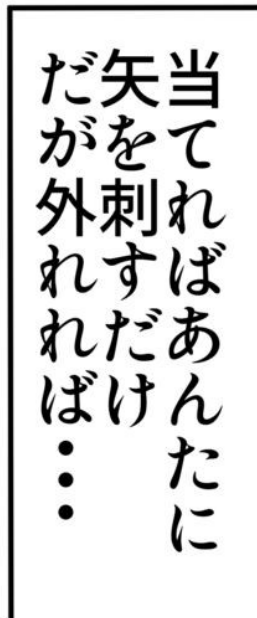
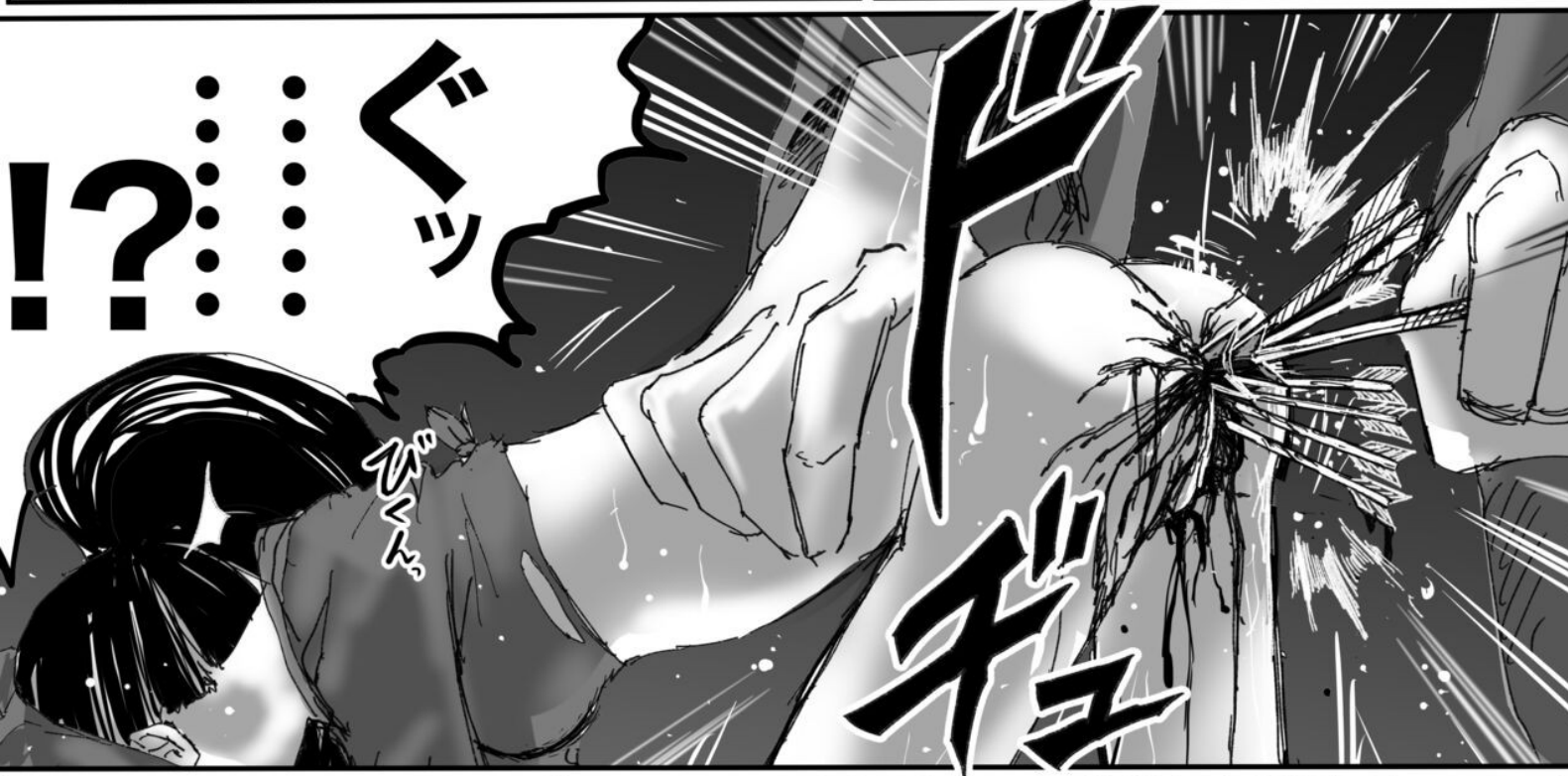
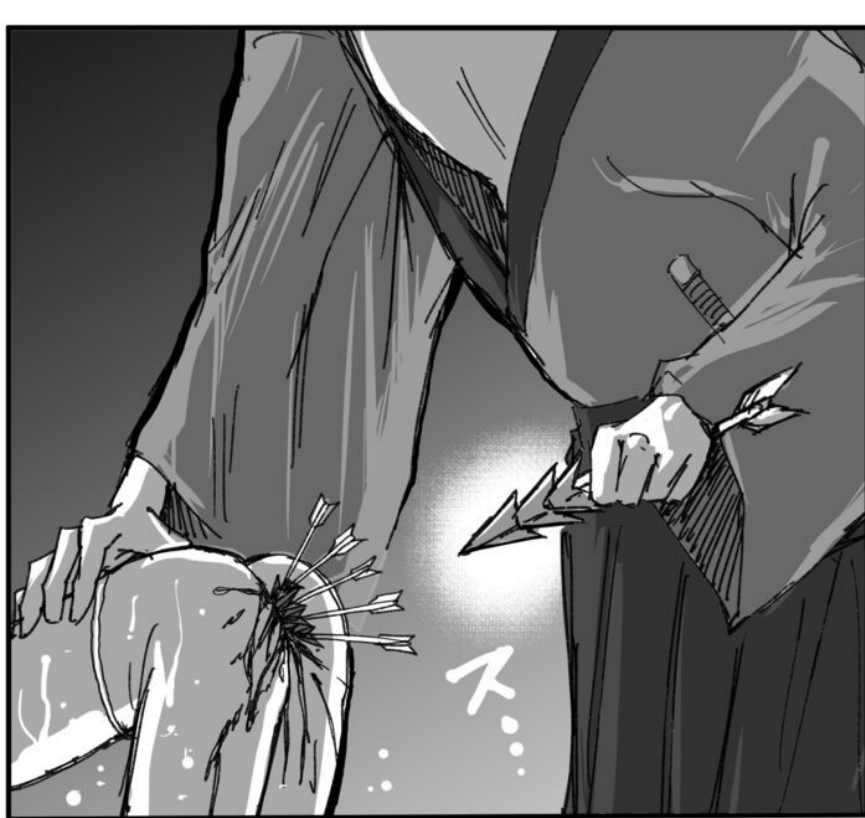
キン…

！
抜刀の音…!!

長髪!

身長5尺1寸!

しゃく
すん





はんぱふ!!
ごひゃふはんふん!!
(短髪 5尺3寸)



ん
ん
ー
ッ
!!



乱れ髪!
5尺2寸!

次!

短髪!
5尺1寸!

次!

ズ

ズ

ズ

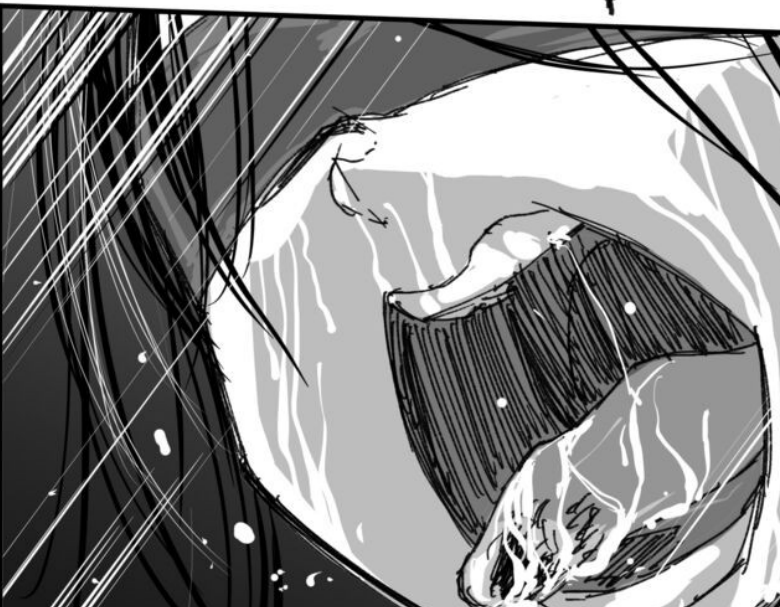
ズ

ズ

肩までの髪!!
5尺1寸んん!!

次!

ズ



俺は人というものに
失望していた

弱く…羞恥しゆうちに傷つき
すぐに冷静さを失う

あんたは違うようだ

しかし



この状況で見事全員を
当てた胆力たんりよく…
驚嘆きやうたんというほか無い

あんたの事は
忘れない

久々に
楽しめた
夜だった

だめえええ!!

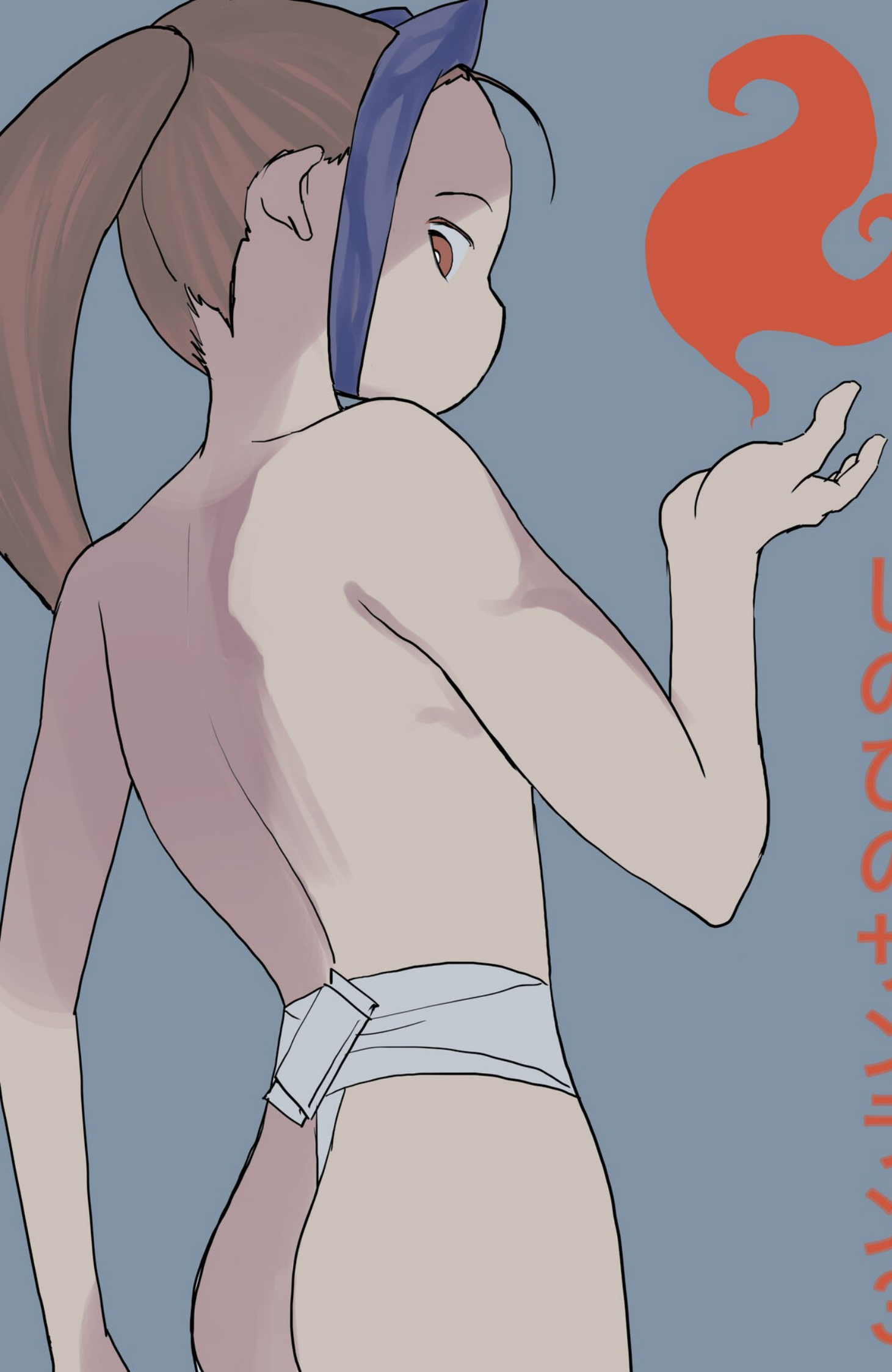




バキッ!

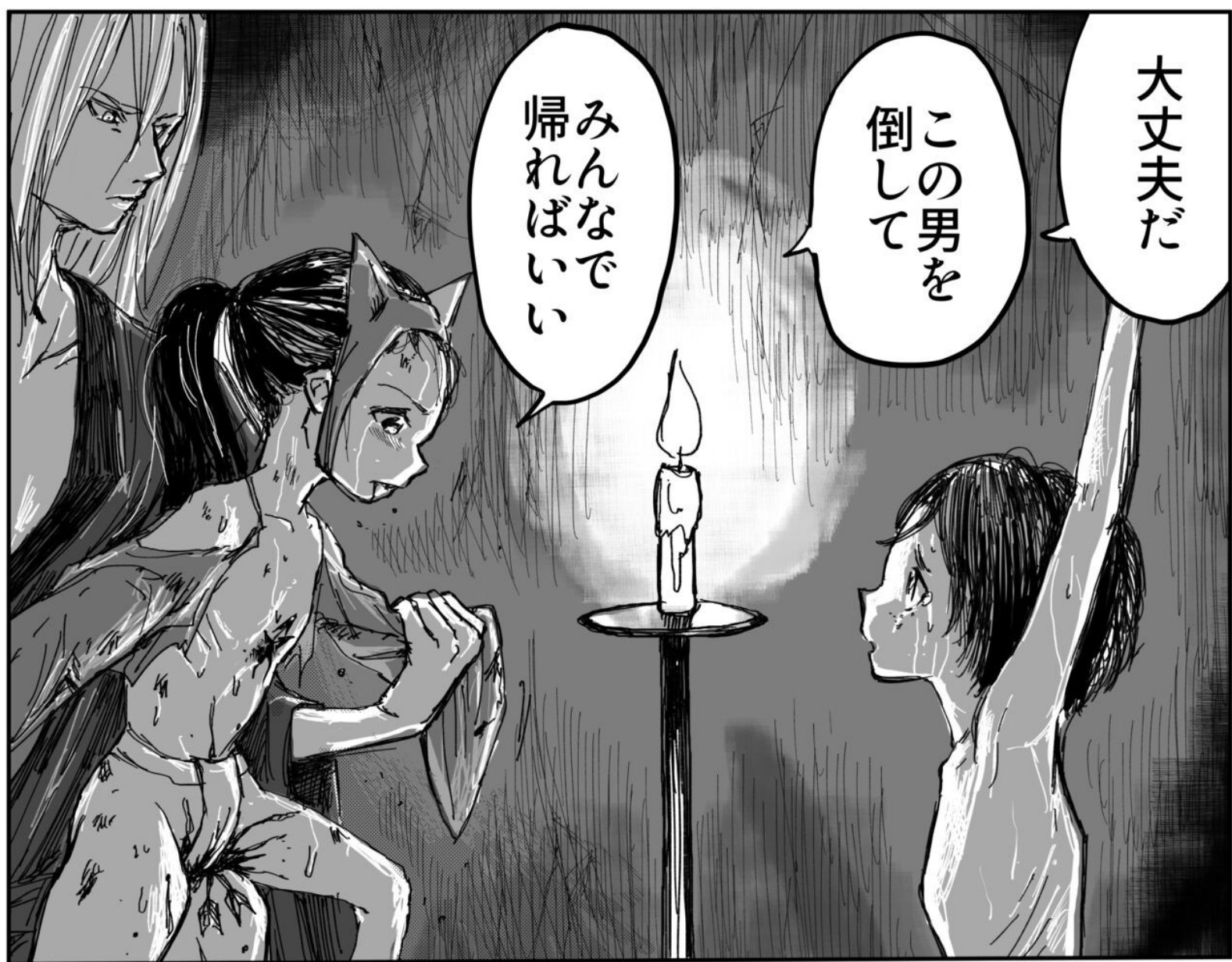
アッ
アッ

ン
ン



しのびのザンプリン3

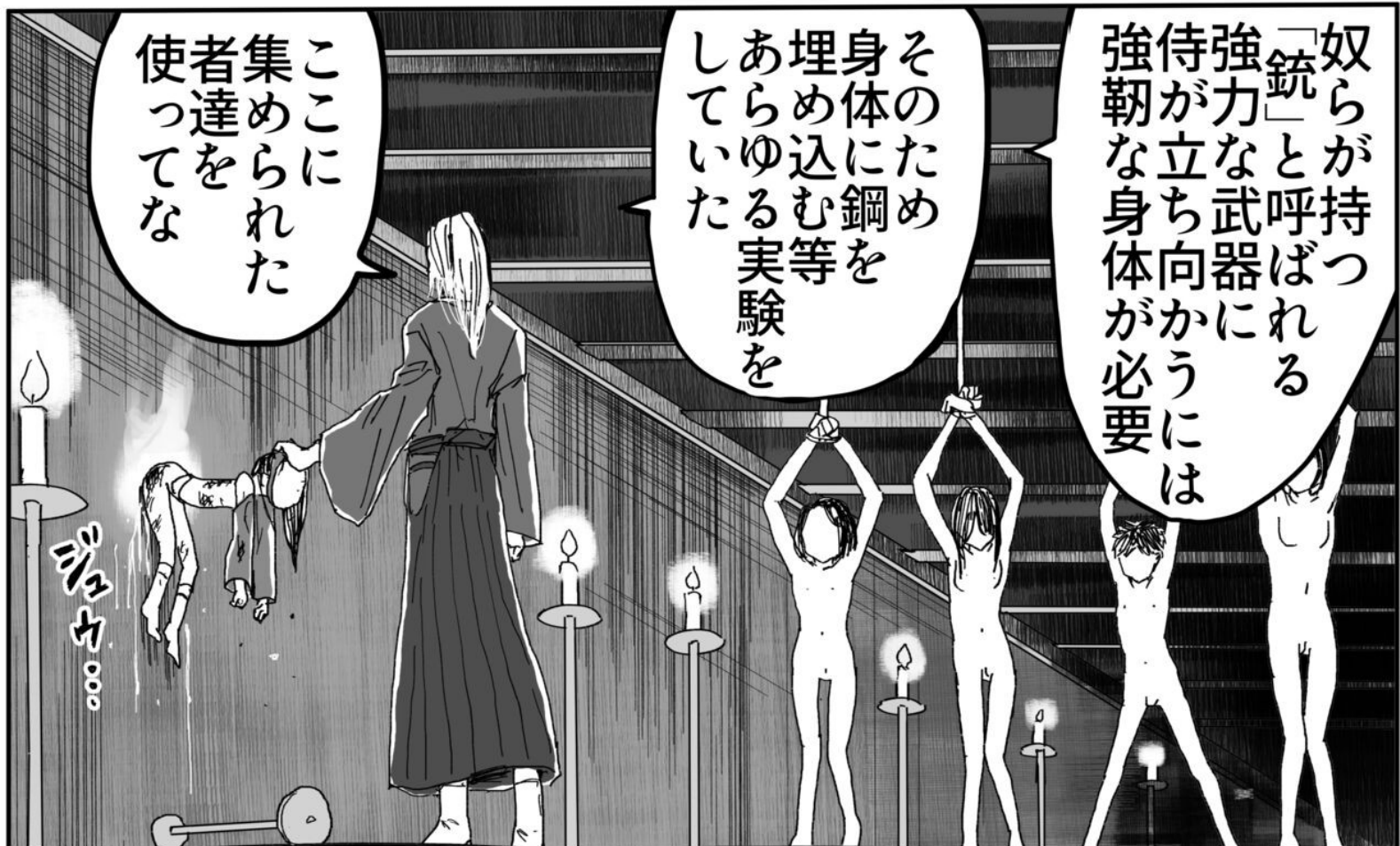






この城で行われているのは
いわば「不死」の実験

いずれのこの国は
海の外の国とも
戦わなければ
ならなくなる



「奴らが持つ
銃」と呼ばれる
強力な武器に
侍が立ち向かうには
強靱な身体が必要

そのため
身体に鋼を
埋め込む等
あらゆる実験を
していた

ここに
集められた
者達を
使つてな

ピュウ...

しかし

輝島^{きしま}は突如
その計画を
やめた

実際に改造された
人間を見て
良心が耐えきれなく
なったのだ

とんだ臆病者の呆将^{ばうしよう}よ

その指……

そうだ

埋め込まれた鋼^{はがね}は
防御と共に
強力な攻撃にもなる

俺は輝島の臣下だが
真っ先に実験に志願した

なぜ皆
弱い身体のまままで平気なのだ？
理解できん

俺を倒すと
言ったか？
やってみるといい

その身体で...

息をするのも
難儀だろうに



このくらい
何ともない

弱虫のお前なら
死んでいただけだろうがな





合金の
爪だ

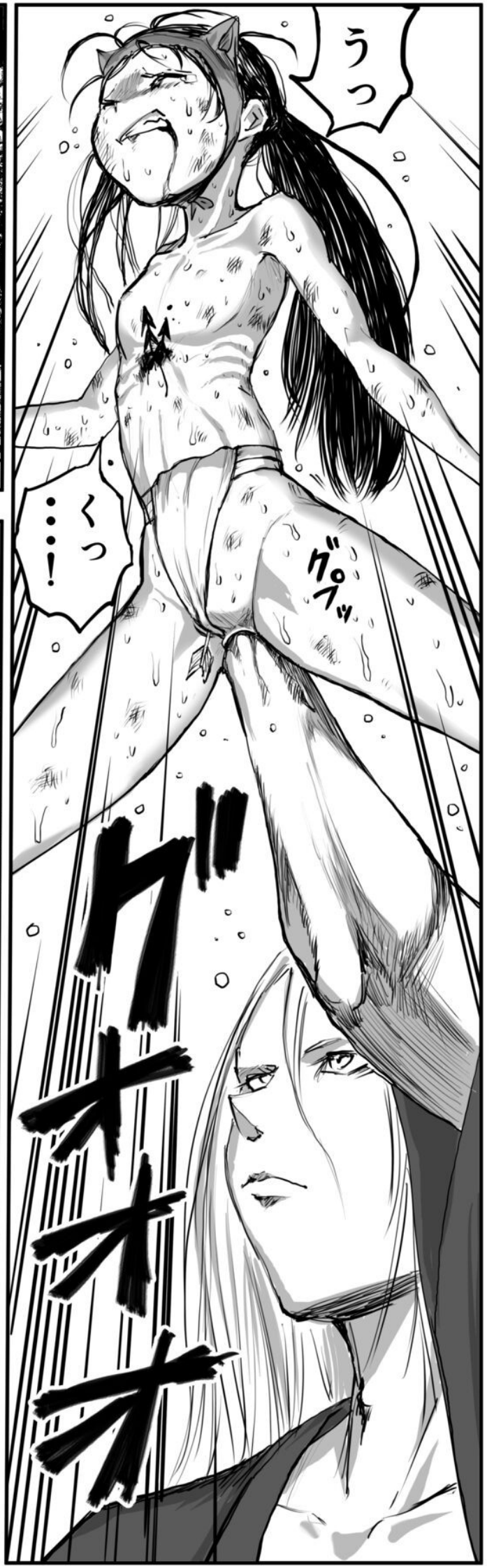
刀より
自由に
深々と
お前の
切り裂く
肉をぞ



貴様の不死の
身体……存分に
調べさせてもらおう



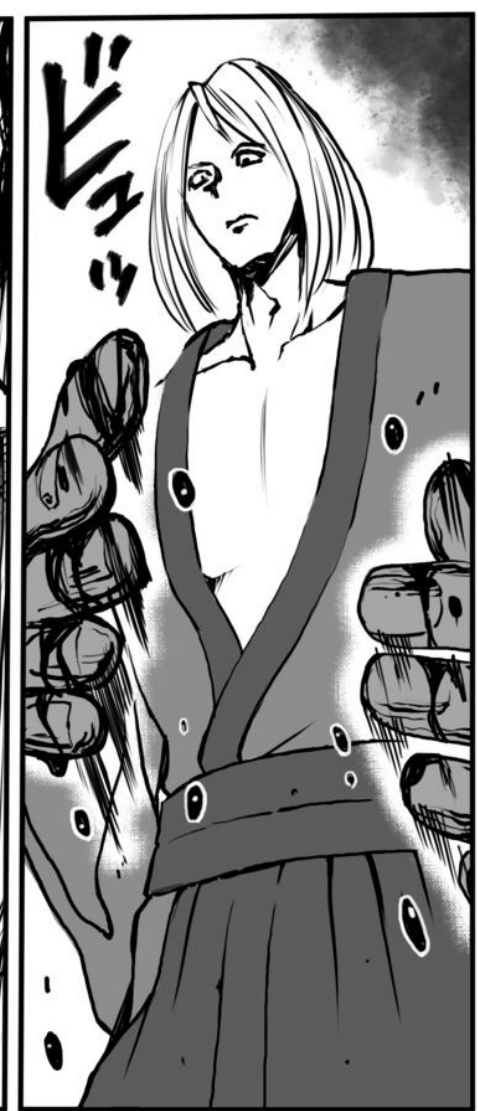
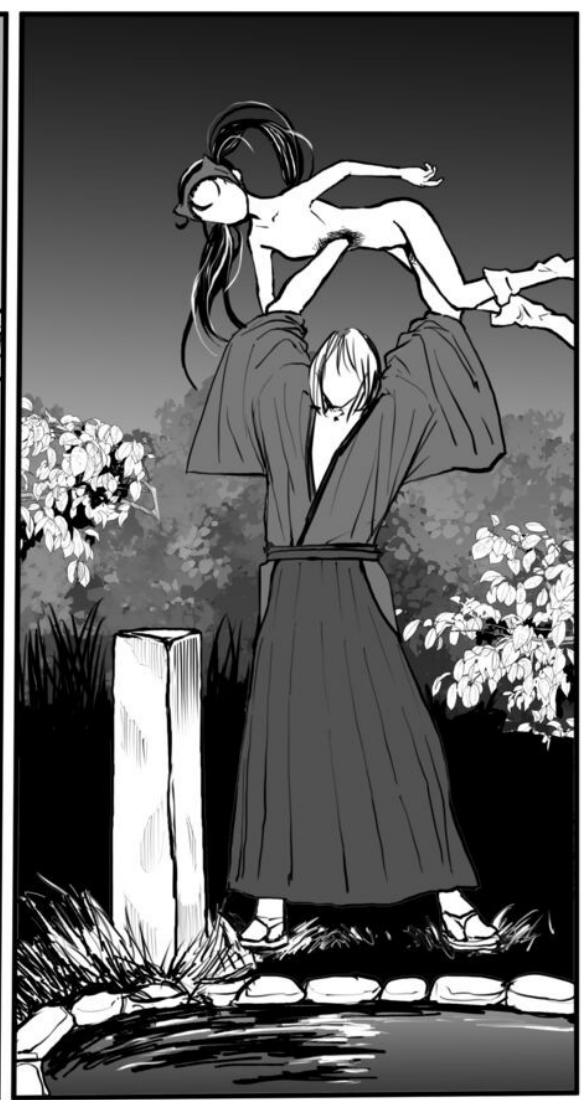
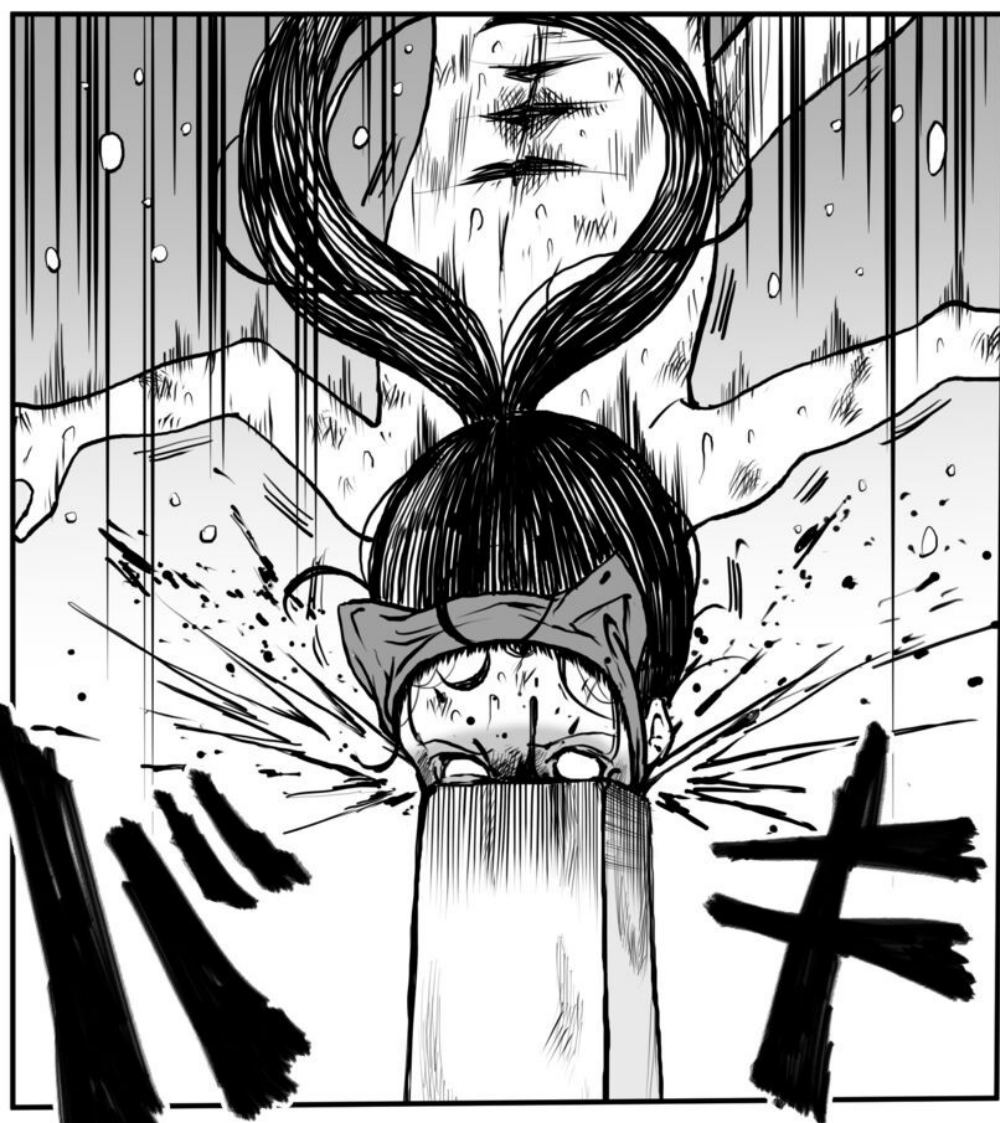
ぐう……!!



体内の矢を
粉々に砕いて
やる

破片で腸も胃も
ズタズタに
なるといい

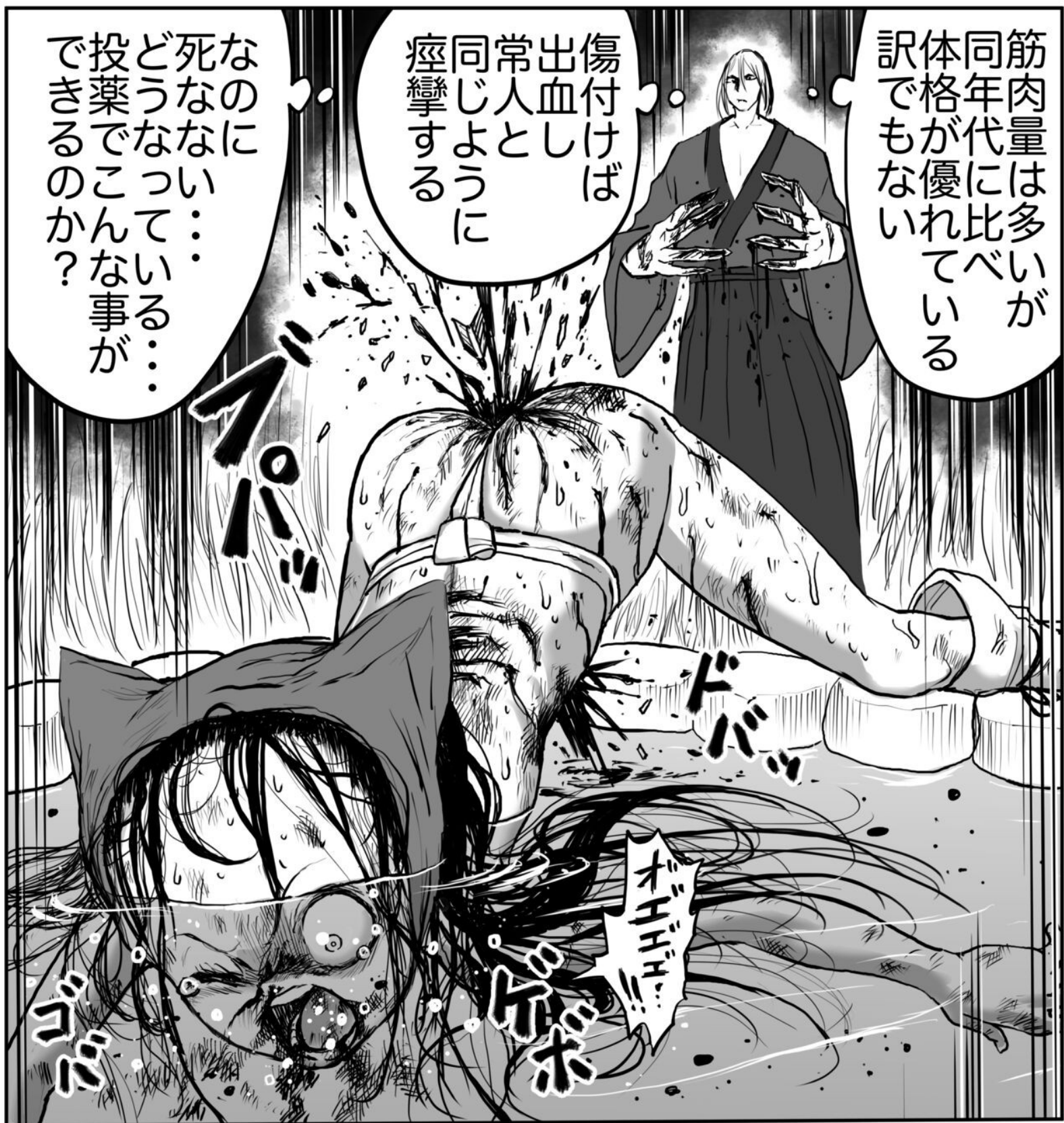




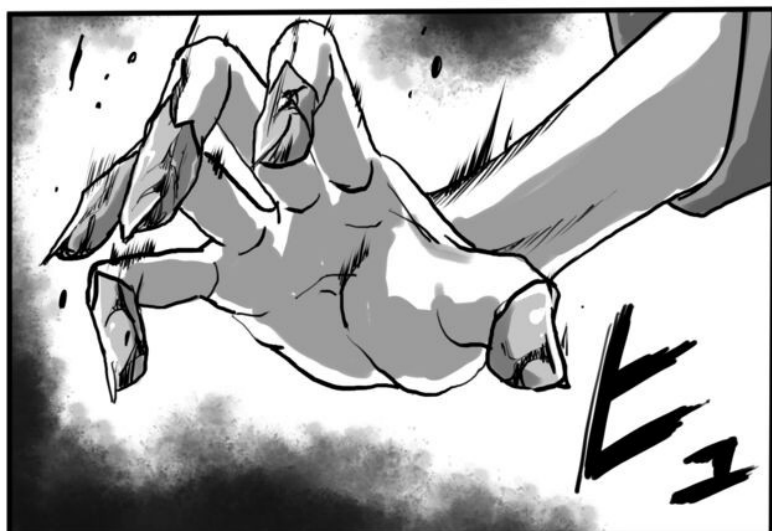
筋肉量は多いが
同年代に比べて
体格が優れている
訳でもない

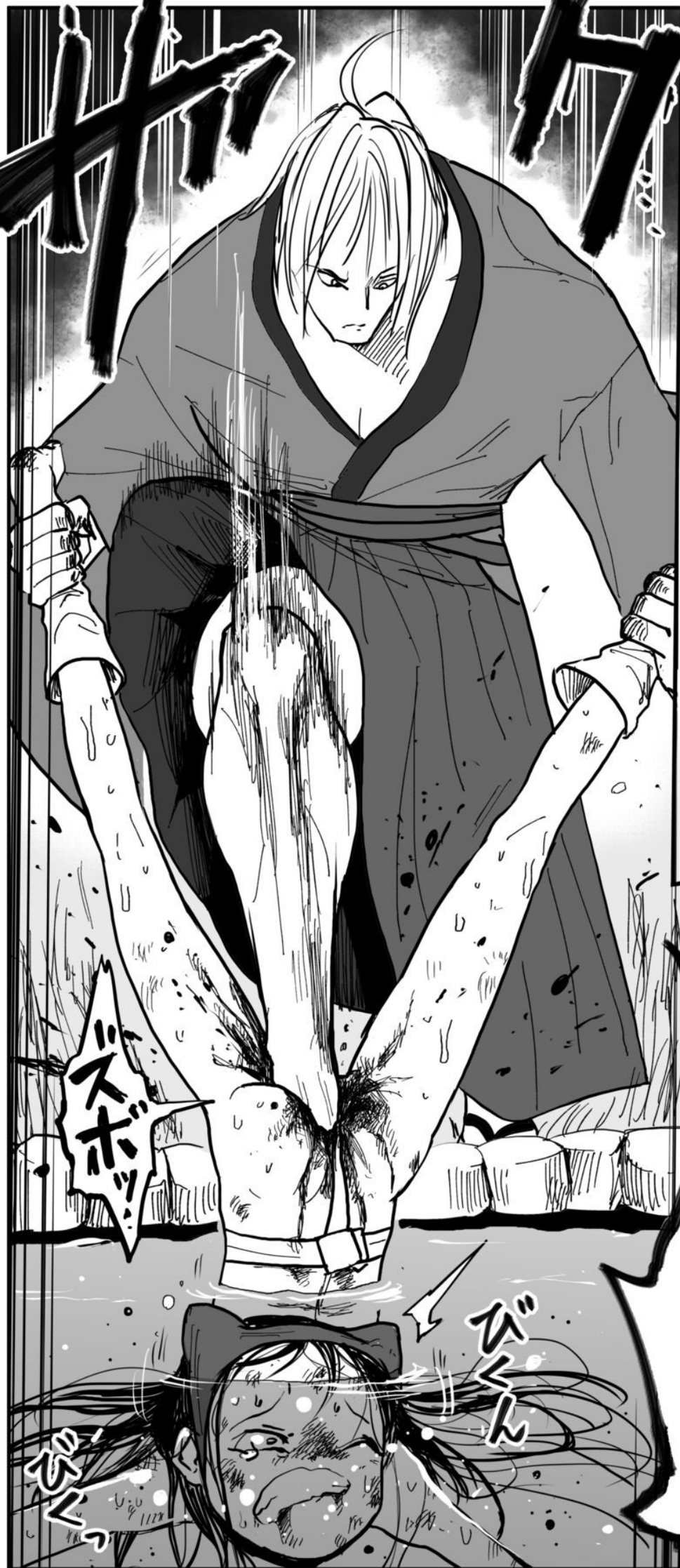
傷付けば
出血し
常人と
同じように
痙攣する

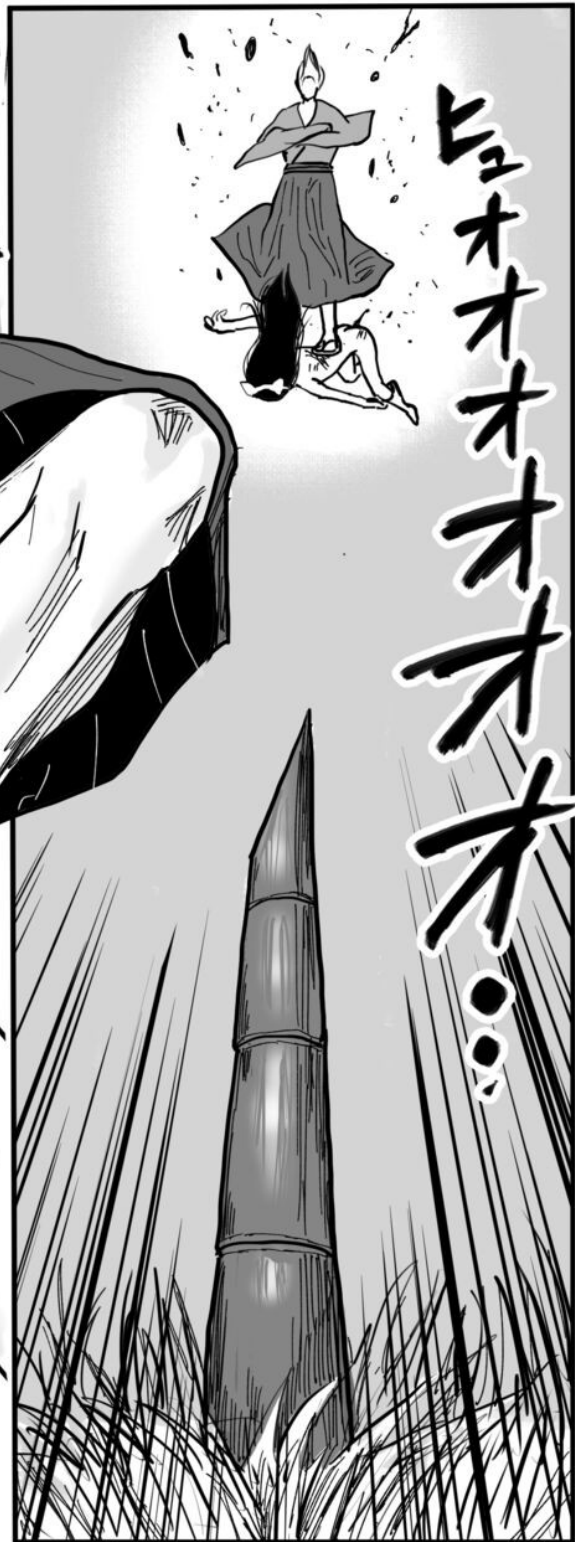
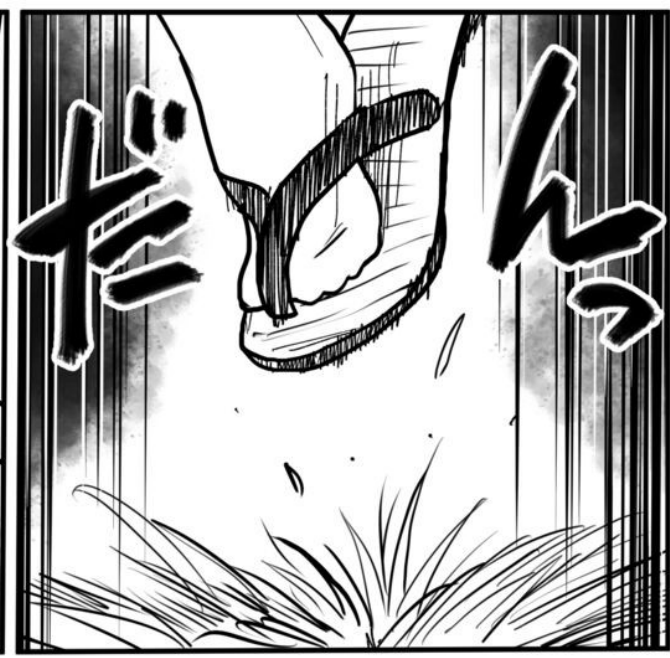
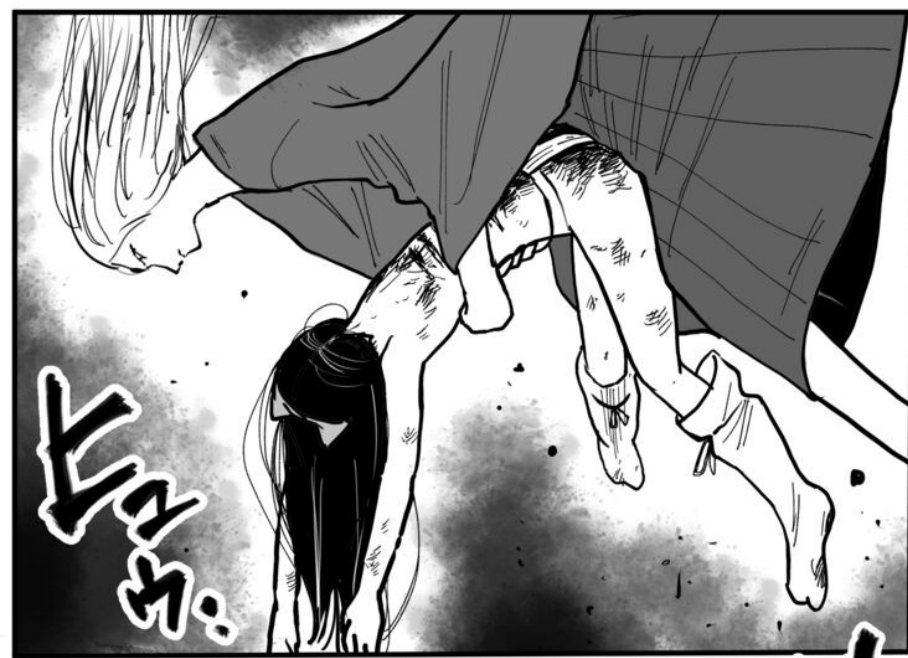
なのになに
死なないか
どうなっている
投薬でこんな事が
できるのか？

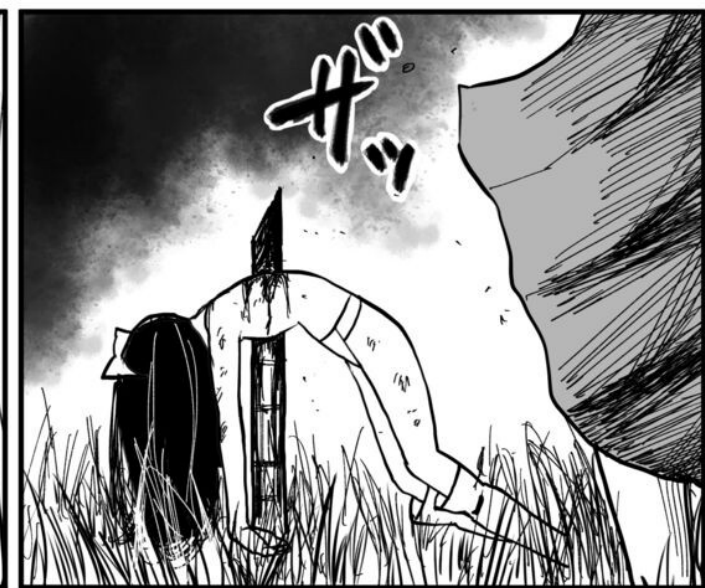
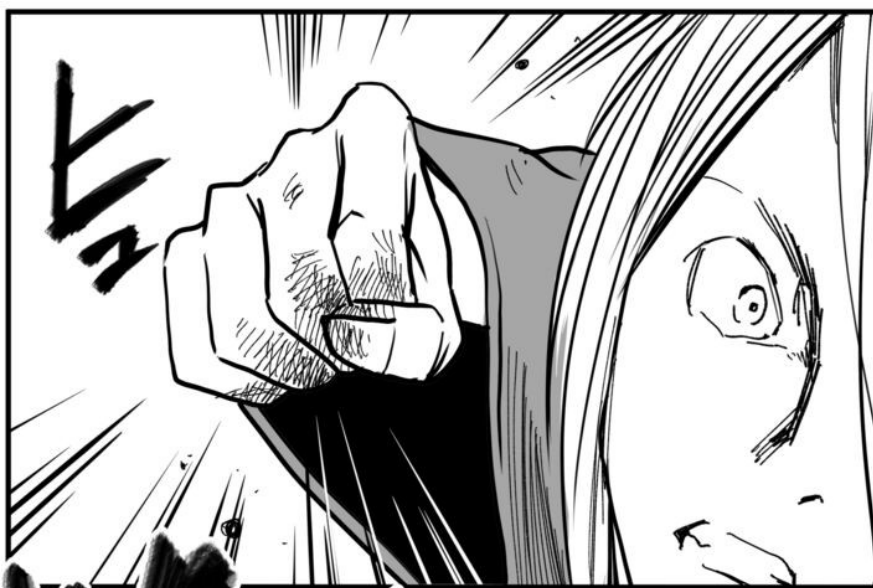


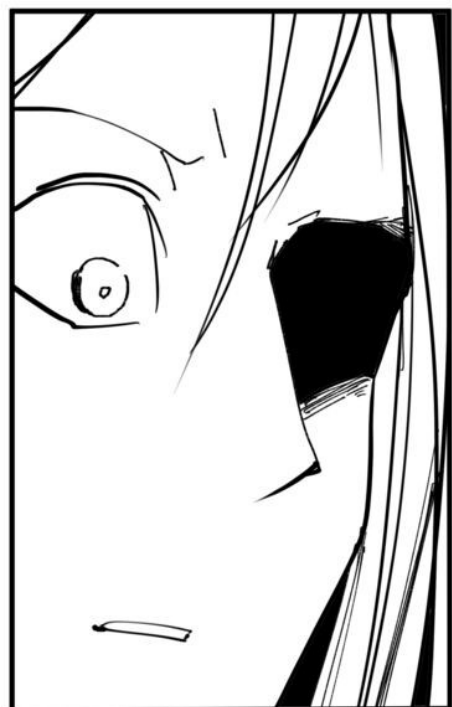
傷が深すぎる…
これ以上
同じ箇所
攻撃を受け
なければ
ようにな
けなけれ











………
某の それがし
不死の秘密を
知りたいだとは？



教えたところで
お前には使いこなせぬ

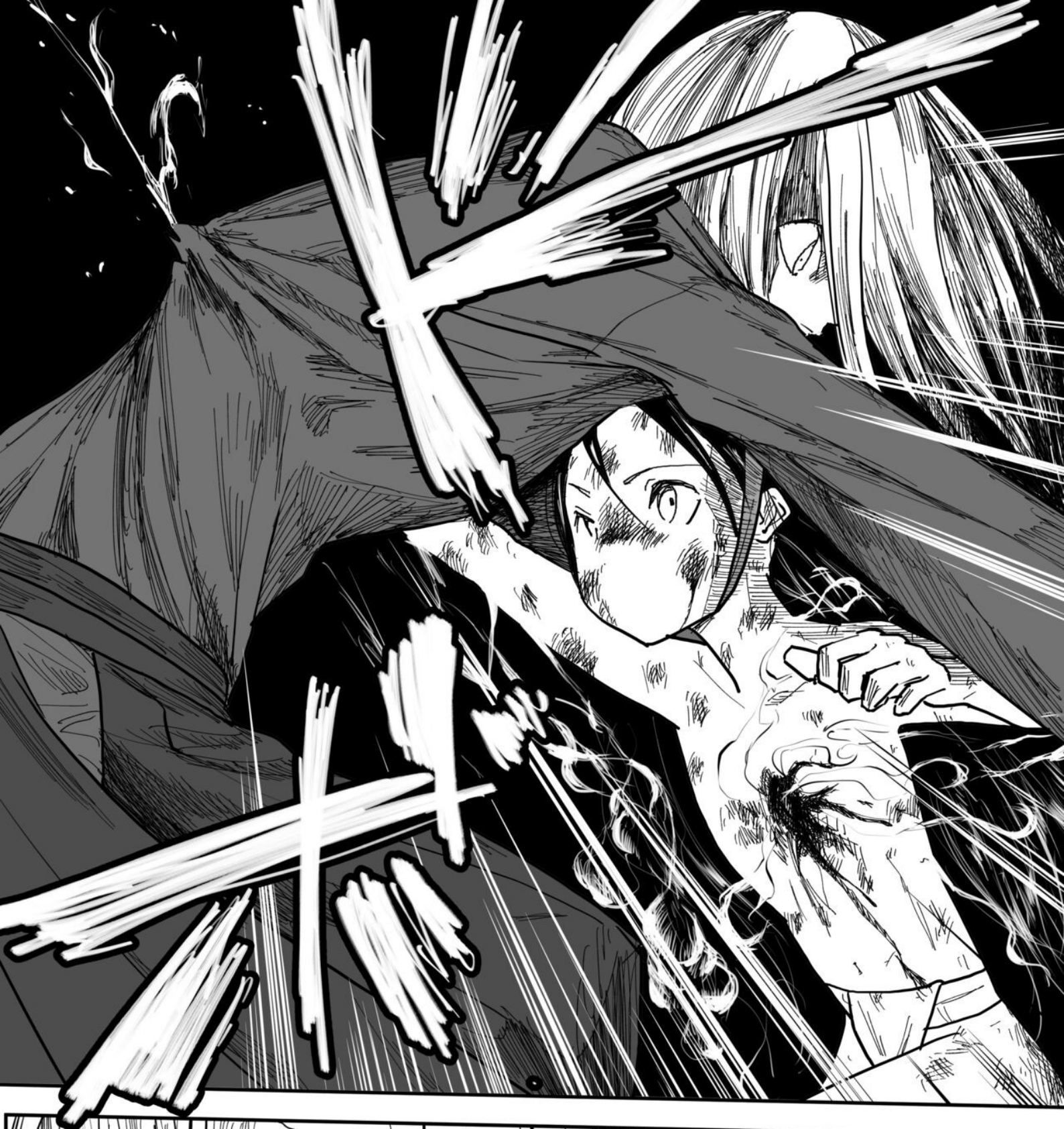
覚悟も鍛錬も足りぬ
ひよっ子にはな

某が今まで
反撃しなかった
理由がわかるか？

グッ

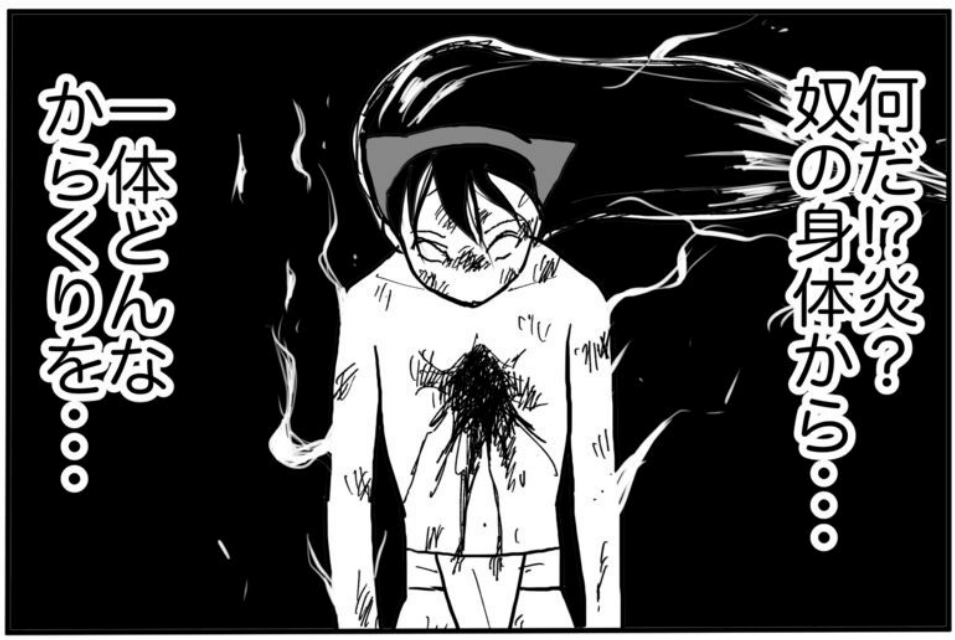
城の皆を
巻き込まぬように
する為だ

ズボ





みきわ
巳際流忍術



一体どんな
からくりを...

何だ!? 炎?
奴の身体から...



えんざん
炎斬!!



うぐ…

「已に際流忍術は
使用者の命を削る
最後の手段」

「使う時は覚悟しなさい」



師匠…わたしやるよ

見せて

こいつを倒して
皆を助ける!!!